

1 . 学 習 案 内

1 . 学 習 案 内

本校は、中学校を卒業し入学してきた学生に **5 年間の一貫教育**を行い、将来の日本の産業界を担う創造性豊かな**工業技術者を育成する学校**です。したがって、授業の内容や勉強の仕方が、中学校までのものとまったく違います。授業の振替や、行事、諸手続き等に関する連絡事項は、主に掲示によって行います。登校したらすぐ**掲示板を見る習慣**をつけてください。

本校の**専攻科**は、5 年間の準学士課程の**上級コース**として位置づけられ、単位の計算方法や成績の評価等が準学士課程と異なります。**専攻科課程の履修要領**（1－17 参照）及び**専攻科授業科目の履修等に関する規程**（5－4 参照）を必ず通読してください。

1－1 学期

学期は、前期（4 月 1 日～9 月 30 日）と後期（10 月 1 日～翌年 3 月 31 日）に分かれています。

1－2 休業日

休業日は、次のとおりです。ただし、都合により、休業日を授業日に振り替えることがあります。また、特別の事情のある場合、臨時休業の処置が取られます。

- (1) 国民の祝日
- (2) 土、日曜日
- (3) 春季休業 4 月 1 日から 4 月 3 日まで
- (4) 夏季休業 8 月 11 日から 9 月 24 日まで
- (5) 冬季休業 12 月 23 日から 1 月 8 日まで
- (6) 学年末休業 2 月 24 日から 3 月 31 日まで

1－3 教育課程

高専は、**学年制を基本**としていますが、**教育課程表**（1－16 参照）にあるように授業時間数を単位数で表し、一部選択制を導入するとともに、**学年ごとに修了認定**を行っています。各学年の授業科目やその単位数は、教育課程表に示してありますが、学科や入学年度によって異なるので注意してください。

単位には、**履修単位**と**学修単位**があります。**履修単位**は、標準 50 分間の授業時間を 1 単位時間とし、30 単位時間をもって 1 単位とします。学修単位は、**自学自習時間**を含めて単位認定をします。その場合の授業時間数は以下のとおりです。

学修単位 A：1 単位あたり 15 時間の授業で 30 時間の予習復習が課せられます。

学修単位 B：1 単位あたり 22.5 時間の授業で 22.5 時間の予習復習が課せられます。

（1－16 教育課程表及び学則第 13 条を参照）

1-4 授業科目（授業内容をシラバス（1-18 参照）で確認すること）

授業科目には、**教育課程表**（1-16 参照）に定められた**必修科目**（必修選択科目を含む）と**選択科目**があります。特に選択科目については教育課程表に指定された単位数以上を履修し、卒業までに**卒業の条件**（1-9 参照）に定められた単位数以上を必修科目と合わせて修得する必要があります。

選択科目の履修については、必ず**選択科目履修願**を学級担任経由で学生課教務係に提出してください。**履修申告の時期**は、後期開講科目は7月、次年度前期・通年開講科目は1月です。

また、やむを得ず選択科目を変更する場合は、授業開始後2週間以内に**選択科目履修変更願**を科目（追加科目及び辞退科目）担当教員に提出しなければなりません。

※選択科目を選ぶ場合は、それぞれの学習目的や将来の進路を十分考慮に入れて、履修変更や途中棄権がないようにしてください。

1-5 成績の評価

学業の成績は、科目担当教員が試験の成績、授業の出席状況及び平常の学習態度等を考慮して100点法によって評価します。また、学生指導要録には評点に対応した評定が記録されます。評点と評定の関係は次のとおりです。

評点	100～80	79～70	69～60	59 以下
評定	A	B	C	D

評価が評点60点以上（評定C以上）である場合に科目を修得でき、単位修得が認められます。

評点60点未満（評定D）の場合は**未修得**となり、その科目は未修得科目となり単位の修得は認められません。また、科目の授業時間数の3分の1以上欠席した場合、その評点は原則として60点未満（評定D）となり、単位の修得は認められません。

1-6 試験

試験には、**定期試験・中間試験**があり、次の方法で実施しています。

定期試験は前期末と学年末に、**中間試験**は、前期・後期の中間の時期にそれぞれ1回ずつ実施します。**各試験の時間割は試験日の2週間前に掲示**します。必ず確認してください。

なお、試験日に**やむを得ない事由**により試験を受けられなかった学生は、願い出により**追試験**を受けることができます。

ここで、**やむを得ない事由**とは、

- (1) 学則第24条の規定による伝染病その他の疾病による出席停止
- (2) 学生準則第15条の規定により、他の学校に入学、転学または編入学を希望して受験することを許可された場合

- (3) 就職または進学のための受験、夏季学外学習への参加、個人または学友会諸団体の学外公式行事への参加（校長の許可したものに限り）
- (4) 交通機関の事故その他担当教員が不可抗力と認めた原因
- (5) 忌引
- (6) 病気によるものと明らかに認められる場合

であり、(2)～(6)については、**学生準則（5－13 参照）** 第 16 条及び第 17 条による届け出または願い出のあったものに限りします。

追試験を希望する学生は、医師の**診断書**や**登校許可書**、**理由書**等をつけて、**追試験受験願**を学級担任を経て学生課教務係へ提出してください。（5－2 学業成績審査規程第 2 条を参照）

手続きは、当該科目試験終了後 1 週間以内に行ってください。

1－7 年度内再評価

前期で終了する授業科目の評価が**評点 60 点未満**である場合、**科目担当教員が許可し**、**教務委員会**で承認された場合に限り、当該年度内における再評価（**年度内再評価**）を受けることができます。年度内再評価を希望する学生は、事前に学級担任の指導を受けてから**再評価願**を科目担当教員へ提出してください。提出期間は、**10 月末日**までです。ただし、原則として**前期**のみの非常勤講師が担当する科目は除きます。また、科目の授業時間数の**3 分の 1 以上欠席した場合**は、科目担当教員による補講等が必要となります。

科目担当教員の指導等の後、学年末の評価が良い場合は**評点 60 点（最高 60 点）**が得られ、単位の修得が認められます。

1－8 再履修

前年度までの**未修得科目のある学生**は、**翌年度前期の授業開始から 2 週間以内**に、修得しなければならない科目（**通年開講科目**、**前期・後期開講科目**）について**再履修願**をそれぞれの科目担当教員に提出してください。

未修得科目の**修得方法は、科目担当教員の判断**により次のいずれかになります。

(1) 再試験

試験のみで、**前期末あるいは学年末の評価が評点 60 点以上**の場合は、単位の修得が認められます。ただし、科目の授業時間数の**3 分の 1 以上欠席した場合**は、この対象になりません。

(2) 通常授業

通常の授業により再履修を行う方法で、授業時間割上重複しないときに限り許可され、**前期末あるいは学年末の評価が評点 60 点以上**の場合は、単位の修得が認められます。

(3) 特別補講

特別補講とは、科目担当教員が**必要と認める場合**に、通常の授業によらず授業時間以外に**特別に時間を設けて再履修（補講形態）**を行う方法です。**前期末あるいは学年末の評価が評点 60 点以上**の場合は、単位の修得が認められます。

特別補講の担当は、原則としてその科目の未修得学年時の科目担当教員が行いますが、科目担当教員により日時・方法等がそれぞれ違いますので事前に科目担当教員と連絡をとってください。

1-9 修了の条件、留年、仮進級、卒業の条件

修了とは、学年を修了し上の学年へ**進級**できることを意味し、修了の認定は学年末の成績審査会議で行われます。また、途中で退学し進路を変える学生のために、その学年の課程修了の認定も別にあります。

(1) 修了の条件

その学年末までに履修すべき**必修科目**のうち、未修得科目の単位数の合計が**規定の数以内**であること（必修科目未修得単位の条件表及び5-2 学業成績審査規程第5条を参照）。さらに、**特別活動**（通称ホームルーム）や**学校行事**の出席状況等が考慮されます。具体的には、**やむを得ない事由**（1-6 参照）によらずまたは無届けで、**特別活動を3分の1以上欠席した者**や**学校行事の欠席を繰り返した者**について、**進級を認定しない**ことがあります。

(2) 留年

修了の認定を受けられずに**現在の学年に留まる**ことです。

留年者のうち**評定 C 以上の科目は、既修得**となりますので授業を受講する必要はありません。ただし、修得済の科目に対してより高い評価を得るために、願い出により再履修（1-8 再履修(2)通常授業による）することもできます。（留年者の再履修）（学業成績審査規程第5条を参照）

(3) 仮進級（第2学年以下の特別措置）

修了の認定が受けられない学生でも、第2学年以下に限り特別な措置があります。それは、成績審査会議において、未修得科目に関し、平常の授業で必要な学習の努力を怠っていないと確認された学生のうち、

- ① **未修得単位数が6を大きく超えていない学生**
- ② **欠席時数が非常に少ない学生**

に適用されます。①かつ②に当てはまると認定された学生は、修了が保留されたまま仮進級となります。

仮進級制度では、**やむを得ない事由**（1-6 参照）に該当する場合の欠席は、欠席時数に含まれませんので、必ず**欠席届**（2-3 参照）を学級担任経由で学生課教務係に提出してください。また、事前に手続きができなかった場合は、事後すみやか（2週間以内）に手続きを行ってください。

2年あるいは3年へ仮進級した学生は、再履修（再試験を含む）を経て評価の結果、未修得単位数が、2年は6以内、3年は4以内になると、その学年の修了が認定されますので、**再履修願**を提出してください。

(4) 卒業の条件

卒業時において

- ① すべての必修科目を修得していること。(未修得単位数の条件及び学業成績審査規程第6条を参照)
- ② 全修得単位数が**167単位以上**で、そのうち、一般科目の修得単位数が**75単位以上**で、専門科目の修得単位数が**82単位以上**の両項目を満たした場合に卒業の認定を行います。

必修科目未修得単位数の条件

第1学年修了	6単位以内
第2学年修了	6単位以内
第3学年修了	4単位以内
第4学年修了	3単位以内
卒業	0単位

1-10 休学、復学、退学

病気や一身上の都合等により休学・復学・退学をする場合は、保護者や学級担任と相談し、慎重に手続きを行ってください。

(1) 休学と復学

病気やその他の理由により、**3ヶ月以上**継続して就学することができない見込みの場合、医師の**診断書**あるいは、**理由書**を添えた**休学願**を学級担任経由で学生課教務係に提出し、**1年以内**に限り休学が許可されます。ただし、特別の理由がある場合には、さらに1年を限度として休学を延長することができます。

病気等の休学の理由が消滅したときは、学級担任を経て**復学願**を提出して、学業に復することができます。

(2) 退学

経済的その他の理由で学業継続が困難となり、やむなく退学しなければならない場合には、理由を記して**退学願**を学級担任経由で学生課教務係へ提出します。

なお、退学に当たっては、学生証や借用図書の返納、またその年度の授業料等の未納金の精算を行わなければ、退学は許可されません。

その他、**転科・転学・留学・他校受験等**については、学生課教務係に問い合わせてください。

1-11 特別学修

特別学修とは、選択科目として一般科目と専門科目の両方に開設された授業科目です。履修数に上限はありませんが、**一般及び専門の特別学修と本校以外の教育施設における学修**（1-12及び学則第13・14条を参照）を合わせて最大**30単位**を修得単位として、そのうち**10単位**を本科卒業の単位として認定することができます。特別学修は他の科目と大きく異なる部分もあるため、その履修方法等について以下に示します。

(1) 技能審査・資格試験等

技能検定・資格試験等合格に関する特別学修の単位認定を申請する場合、学生は該当する検定・試験等に**合格した年度内**に、それを証する書類を添付して**特別学修による単位認定願**を担当教員（教育課程表（1-16）中の特別学修一覧表参照）に提出しなくてはなりません。ただし、資格取得日が年度末（2月下旬～3月末日）に当たる場合、翌年度の単位認定となります。

なお、本校を通して受験し合格した漢字検定、実用英検、工業英検、TOEIC IP 等に関しては、特別学修による単位認定願を提出する必要はありません。その他、不明な点は、事前（資格取得前）に担当教員と相談するようにしてください。

(2) ロボコンなどの創造的活動、教育支援活動、ボランティア活動

これらの特別学修は、事前に**履修登録**をする必要があります。原則として、4月末日までにシラバスに記載された指導教員のところに行き、指示を受けてください。

授業方法や単位認定方法については各科目によって異なるためシラバスで確認してください。

1-12 本校以外の教育施設における学修

本校では、教育上有益と認める場合に、他の高等専門学校や大学等で開設されている授業科目について、その学修を許可し本科における単位として認定します（5-3 参照）。本科の学生でこの制度を利用する場合は、あらかじめ**本校以外の教育施設における学修許可願**を、学級担任を経て学生課教務係へ提出してください。また、本校以外の教育施設において、その授業科目の学修を修了して単位を修得した場合には、すみやかに**本校以外の教育施設における学修単位認定申請書**を、学級担任を経て学生課教務係へ提出してください。**特別学修**（1-11 参照）と合わせて最大 30 単位を修得単位として、そのうち 10 単位までを本科卒業の単位として認定することができます。

成績表には、「〇〇大学における学修（授業科目名）」のように記載され、単位認定申請を行った年度に在籍する学年の単位として、その教育施設で修得した単位数が認められます。

専攻科でも**専攻科授業科目の履修等に関する規定**（5-4 参照）第 10 条に明記されており同様な制度があります。専攻科の学生でこの制度を利用する場合は、あらかじめ**大学等における学修許可願**を、専攻主任を経て学生課教務係へ提出してください。シラバスを比較検討して**教育課程表**（1-16 参照）の専攻科授業科目と置き換えることができると判断された場合には、許可書の中にその旨が明記されますので、その単位を修得後すみやかに**大学等における学修単位認定申請書**を、専攻主任を経て学生課教務係へ提出してください。**最大 4 単位**まで専攻科における単位として認定されます。

1-13 学外実習

本校では、専門教育の比重が大きくなる**第 4 学年の夏季休業中**に、企業での実習体験に参加するように指導しています。

企業での実習を通して、学校での授業では得られない実務の場を体験し、第5学年において進路を決定する際の参考にすることを期待しているからです。

また、この実習の評点が**60点以上**の場合は、**単位を修得**できます。実習の時期は夏季休業中の2週間程度です。

実習先等の詳細については、学級担任と相談してください。

やむを得ない場合、第4学年の夏季休業以降でも学外実習を履修することができます(5-2 学業成績審査規程参照)。学級担任と相談してください。

評価方法

第4学年の学生に適用される学外実習についての評価方法は、次のとおりです。

- (1) 所属学科の授業内容に合致する実習を通算60時間(2単位の場合)以上行った者について単位の認定を行う。
- (2) 単位の認定を希望する学生は、担当教員に報告書と学外実習証明書を提出する。
- (3) 報告書には少なくとも次の事項が記載してあること。
 - ① 実習の目的
 - ② 実習の内容
 - ③ 実習の成果
 - ④ 考察
- (4) 担当教員は、提出された報告書等に基づいた成績の評価を行い、各学科の主任を経由して校長に報告する。

1-14 試験受験心得

学業の成績を評価するにあたり、試験は厳正かつ公正に行われなければなりません。下記の事項に注意し、試験に臨んでください。

(1) 受験準備

- ① 移動機の教室においては、机は原則として縦6列とし、試験実施に際して適切となる間隔をあけて配置すること。
- ② 試験中は、廊下側から出席番号順に着席すること。なお、固定機の教室における着席位置については、試験監督教員の指示に従うこと。
- ③ 机上の落書きは、事前に消しておくこと。
- ④ 机の上及び中には、筆記用具及び試験監督教員が持込みを許可した物(電卓等)以外は、一切置かないこと(筆箱や下敷も置かないこと)。消しゴムはスリーブ(ケース)から出しておくこと。
- ⑤ 携帯電話等^{*}については、試験開始前に電源を切っておき、身に付けないこと。(諸機能を含め、携帯電話等の使用は全面的に禁止する)。

※携帯電話等には、腕時計型や眼鏡型などのウェアラブル端末も含んでいますので、スマートウォッチなどを身につけないこと。

- ⑥ 荷物等は、ロッカー内または教室の後方および前方へ整理して置いておくこと。

(2) 受験上の注意

- ① 試験に 20 分以上遅刻した場合は、受験を認めない。
- ② 試験中に不正行為（不正行為を助ける行為や不正予備行為を含む）を行った場合は、その時間以降の受験資格を失い、さらにその試験期間中の全試験科目の得点は 0 点となるので、このような行為は絶対に起こさないこと。

(3) その他

- ① 試験会場が特別教室等になる場合があるので、試験時間割で確認すること。
- ② 再試験については試験時間割には組み入れないので、事前に科目担当教員と打ち合わせしておくこと。
- ③ 試験中の途中退室は原則として認めない。

1-15 成績及び出欠席の訂正について

各科目の成績及び出欠席については、前期末及び学年末にコンピュータで処理され、各個人に通知されます。万一、これらについて誤記等の疑問がある場合には、前期の場合は当該年度の 10 月末日までに、通年（後期）の場合は次年度の 4 月末日までに、学生課教務係に申し出てください。成績及び出欠席について誤りが発見された場合には、科目担当教員より訂正の手続きがなされますが、これらの期限が経過した後は、訂正は不可能となりますので、十分注意してください。

1-16 準学士課程及び専攻科課程の教育課程表

〈準学士課程〉

一般科目	32
------	----

専門科目

機械工学科	36
電気電子工学科	42
主任技術者認定科目一覧表	48
電子制御工学科	49
情報工学科	55
環境都市工学科	61

特別学修一覧表	67
---------	----

〈専攻科課程〉

機械・電子システム工学専攻	73
制御・情報システム工学専攻	74
環境建設工学専攻	75

一般科目【1年生】

区分	授 業 科 目	単 位 数	学 年 別 配 当 単 位 数										学 修 単 位	備 考
			1 年		2 年		3 年		4 年		5 年			
			前	後	前	後	前	後	前	後	前	後		
必修科目	国 語 I a	2	2										A	
	国 語 I b	2		2									A	
	国 語 II a	1			1									
	国 語 II b	1				1								
	国 語 III	1					1							
	国 語 表 現	1								1				
	地 理 a	1	1											
	地 理 b	2		2									A	
	歴 史 a	1			1									
	歴 史 b	2				2							A	
	現 代 社 会 a	1					1							
	現 代 社 会 b	2						2					A	
	美 術	1	1						2					
	英 語 I a	1	1											
	英 語 I b	1		1										
	英 語 II a	1	1											
	英 語 II b	1		1										
	英 文 法	2	2										A	
	英 語 III a	1			1									
	英 語 III b	1				1								
	英 語 IV a	1			1									
	英 語 IV b	1				1								
	英 語 V a	1					1							
	英 語 V b	1						1						
	ド イ ツ 語 I a	1					1							
	ド イ ツ 語 I b	1						1						
	保 健 体 育 I a	1	1											
	保 健 体 育 I b	1		1										
	保 健 体 育 II a	1			1									
	保 健 体 育 II b	1				1								
	体 育 I a	1					1							
	体 育 I b	1						1						
	体 育 II	1							1					
	体 育 III	1										1		
	基 礎 数 学 I	3	3											
	基 礎 数 学 II	2		2										
基 礎 数 学 III	1		1											
線 形 代 数 I A	1			1										
線 形 代 数 I B	1				1									
微 分 積 分 I A	2			2										
微 分 積 分 I B	2				2									
線 形 代 数 II	1						1							
微 分 積 分 II	2					2								
微 分 積 分 III	2						2					A		
基 礎 科 学	1	1												
物 理 学 I	1		1											
物 理 学 II A	1			1										
物 理 学 II B	1				1									
ラ イ フ サ イ エ ン ス ・ ア ー ス サ イ エ ン ス	1					1								
物 理 学 III	1					1								
物 理 学 IV	1						1							
基 礎 化 学 I A	1	1												
基 礎 科 学 I B	1		1											
化 学 I A	1			1										
化 学 I B	1				1									
化 学 II	1						1							
開 設 単 位 計	69	26	21	19	2	1						学修単位数14		

区分	授 業 科 目	単 位 数	学 年 別 配 当 単 位 数										学 修 単 位	備 考
			1 年		2 年		3 年		4 年		5 年			
			前	後	前	後	前	後	前	後	前	後		
必修 選択科目	英 語 演 習 I a	1							1				同時開講 [注1] うち1科目選択	
	英 会 話 I a	1							1					
	英 語 演 習 I b	1								1				
	英 会 話 I b	1								1				
	英 語 演 習 II	1									1			
	英 会 話 II	1									1		同時開講 [注1] うち1科目選択	
	哲 学 a	2							2					
	経 済 学 a	2								2				
	社 会 学 a	2								2				
	哲 学 b	2								2				
	経 済 学 b	2								2			同時開講 うち1科目選択	
	社 会 学 b	2								2				
一般特別セミナー	1					1								
開 設 単 位 計	19	0		0		1		16		2				
学修単位数12														
選 択 科 目	国 文 学	1									1		同時開講	
	心 理 学	1									1			
	法 学	1									1			
	ド イ ツ 語 II a	1							1				同時開講	
	中 国 語 I a	1							1					
	ド イ ツ 語 II b	1								1				
	中 国 語 I b	1								1			同時開講	
	ド イ ツ 語 III a	1									1			
	中 国 語 II a	1									1			
	ド イ ツ 語 III b	1										1	同時開講	
	中 国 語 II b	1										1		
	日 本 文 化 論	1			1									
	開 設 単 位 計	12	0		1		0		4		7			
学修単位数														
特 別 学 修	一般及び専門の特別学修と本校以外の教育施設における学修をあわせて最大10単位まで有効											[注2]		
	本校以外の教育施設における学修											[注3]		
開設単位合計		100	26		22		20		22		10	26	特別学修および本校以外の教育施設における学修は含まない	

注1：英語科目に関し、資格試験により振替措置があります。英語の授業時に説明があります。

注2：A（1単位：15時間＋自学自習30時間） 1履修単位→2.0学修単位

注3：特別学修の内容は、別に定める。

注4：本校以外の教育施設における学修の手続きは、別に定める。

一般科目【2～5年生】

区 分	授 業 科 目	単 位 数	学 年 別 配 当 単 位 数										備 考
			1 年		2 年		3 年		4 年		5 年		
			前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	
必 修	国 語 I	3	3										
	国 語 II	2			2								
	国 語 III	2					2						
	国 語 表 現	1							1				
	歴 史 I	2	2										
	歴 史 II	2			2								
	現 代 の 社 会	2	2										
	技 術 と 社 会	1					1						
	美 術	1	1										
	音 楽	1	1										
	英 語 I A	2	2										
	英 語 I B	2	2										
	英 文 法 I	1	1										
	英 語 II A	2			2								
	英 語 II B	2			2								
	英 文 法 II	1			1								
	英 語 III	2					2						
	英 語 表 現	1					1						
	科 目	ド イ ツ 語 I	2					2					
保 健 体 育 I		3	3										
保 健 体 育 II		3			3								
体 育 I		2					2						
体 育 II		1							1				
体 育 III		1									1		
基 礎 数 学 I		3	3										
基 礎 数 学 II		2			2								
基 礎 数 学 III		1			1								
代 数 幾 何		3			3								
解 析 I A		2			2								
解 析 I B		2					2						
解 析 II		2					2						
解 析 III		1					1						
基 礎 科 学		1	1										
物 理 学 I		1			1								
物 理 学 II		2			2								
物 理 学 III		1					1						
基 礎 化 学		3	3										
化 学	2			2									
一 般 特 別 研 究	1					1							
開 設 単 位 計	69	28		23		15		2		1			

区 分	授 業 科 目	単 位 数	学 年 別 配 当 単 位 数										備 考
			1 年		2 年		3 年		4 年		5 年		
			前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	
必修 選択 科目	数 学 演 習 A	1					1						同時開講 うち 1 単位選択
	数 学 演 習 B	1					1						
	生 物 学	1					1						
	地 学	1					1						
	英 語 演 習 I	2							2				同時開講 [注 1]
	英 会 話 I	2							2				うち 2 単位選択
	英 語 演 習 II	1									1		同時開講 [注 1]
	英 会 話 II	1									1		うち 1 単位選択
	哲 学	2							2				同時開講
	経 済 学	2							2				うち 2 単位選択
社 会 学	2							2				B [注 2]	
開 設 単 位 計	16	0		0		4		10		2		学修単位数 6	
選 択 科 目	国 文 学	1									1		同時開講
	心 理 学	1									1		
	法 学	1									1		
	ド イ ツ 語 II	2							2				同時開講
	中 国 語 I	2							2				同時開講
	ド イ ツ 語 III	2									2		
	中 国 語 II	2									2		
	日 本 文 化 論	1			1								集中講義
	開 設 単 位 計	12	0		1		0		4		7		
特 別 学 修	一般および専門の特別学修と本校以外の教育施設における学修をあわせて最大 10 単位まで有効											[注 3]	
本校以外の教育施設における学修												[注 4]	
開 設 単 位 合 計		97	28		24		19		16		10	特別学修および 本校以外の教育施設における学修は含まない	

注 1：英語科目に関し、次のような振替措置を行う。なお、詳細については、英語の授業時に説明が行われる。

資格試験（合格/得点）	振替を行う授業科目	単 位 数	評 点
実用英検準 2 級	英語演習 I	2	90
工業英検 4 級			
TOEIC L&R400 点以上※	英語演習 II	1	80～※
※ TOEIC L&R400～424 点：80 点、425～449 点：90 点、450～469 点：100 点。 470 点以上得点の場合は「特別学修」による単位認定も併せて行われる。			

注 2：B（1 単位：22.5 時間＋自学自習 22.5 時間） 1 履修単位→1 学修単位

注 3：特別学修の内容は、別に定める。

注 4：本校以外の教育施設における学修の手続きは、別に定める。

機械工学科【1年生】

区分	授 業 科 目	単位 数	学 年 別 配 当 単 位 数										学修 単位 数	備 考
			1 年		2 年		3 年		4 年		5 年			
			前	後	前	後	前	後	前	後	前	後		
必修科目	応 用 数 学 A	2							2			A		
	応 用 物 理 実 験	1								1				
	情 報 処 理 I	1	1											
	情 報 処 理 II	1		1										
	情 報 処 理 III	1			1									
	機 構 学 I	1				1								
	機 構 学 II	2					2					A		
	工 業 力 学 I	1			1									
	工 業 力 学 II	1				1								
	機 械 力 学 I	2								2		A		
	機 械 力 学 II	2									2		A	
	材 料 力 学 I	1						1						
	材 料 力 学 II	2							2				A	
	材 料 力 学 III	2								2			A	
	材 料 学 I	1					1							
	材 料 学 II	2						2					A	
	材 料 学 III	2							2				A	
	熱 力 学 I	2							2				A	
	熱 力 学 II	2								2			A	
	流 体 力 学 I	1							1					
	流 体 力 学 II	2								2			A	
	流 体 力 学 III	2									2		A	
	機 械 工 作 法 I	2						2					A	
	機 械 工 作 法 II	2							2				A	
	図 学 製 図 I	1	1											
	図 学 製 図 II	1		1										
	設 計 製 図 I	1			1									
	設 計 製 図 II	1					1							
	設 計 製 図 III	1						1						
	設 計 製 図 IV	1							1					
	電 気 回 路	1			1									
	論 理 回 路	1									1			
	制 御 工 学 I	2									2		A	
	制 御 工 学 II	2										2	A	
	計 測 工 学 I	1					1							
	計 測 工 学 II	2						2					A	
	課 題 研 究	1								1				
	工 学 演 習 I	1									1			
	技 術 者 入 門 I	1	1											
	技 術 者 入 門 II	1		1										
	工 学 実 験 IA	1	1											
	工 学 実 験 IB	1		1										
	工 学 実 験 IIA	1			1									
	工 学 実 験 IIB	1				1								
	工 学 実 験 IIIA	1					1							
	工 学 実 験 IIIB	1						1						
工 学 実 験 IVA	1							1						
工 学 実 験 IVB	1								1					
製 作 実 習 I	2				2									
製 作 実 習 II	2					2								
製 作 実 習 III	1							1						
製 作 実 習 IV	1								1					
電 気 工 学 演 習	1								1					
設 計 法 I	1								1					
設 計 法 II	1									1				
伝 熱 工 学	1									1				
マ イ コ ン 制 御	1							1						
工 学 演 習 II	1									1				
工 学 演 習 III	1										1			
卒 業 研 究	8									2	6			
開 設 単 位 計	86		8		10		17		29		22		学修単位数34	

区分	授 業 科 目	単位 数	学 年 別 配 当 単 位 数										学 修 単 位	備 考
			1 年		2 年		3 年		4 年		5 年			
			前	後	前	後	前	後	前	後	前	後		
必修 選択 科目	プロジェクト実習	1					1							一般特別セミナー と同時開講、いず れか選択
	応 用 数 学 B	2							2				A	1科目は必修
	応 用 数 学 C	2								2			A	他方は選択科目
	開 設 単 位 計	5	0		0		1		4		0			学修単位数4
選 択 科 目	統 計 学	2									2		A	
	応 用 物 理	1									1			
	学 外 実 習	2							2					
	工 業 英 語 演 習	1										1		
	論 文 作 成 技 法	1										1		
	工 学 演 習 IV	1										1		
	開 設 単 位 計	8	0		0		0		2		6			学修単位数2
	特 別 学 修													[注2]
本校以外の教育施設 における学修		一般及び専門の特別学修と本校以外の教育施設における学 修をあわせて最大10単位まで有効											[注3]	
開設単位合計		99	8		10		18		35		28		40	特別学修および本 校以外の教育施設 における学修は含 まない

注1：A（1単位：15時間＋自学自習30時間） 1履修単位→2.0学修単位

注2：特別学修の内容は、別に定める。

注3：本校以外の教育施設における学修の手続きは、別に定める。

専門科目
機械工学科【2～4年生】

区分	授 業 科 目	単位 数	学 年 別 配 当 単 位 数										学 修 単 位	備 考
			1 年		2 年		3 年		4 年		5 年			
			前	後	前	後	前	後	前	後	前	後		
必修科目	応 用 数 学 A	2							2				A	
	応 用 物 理 1	1						1						
	応 用 物 理 2	1							1				B	
	応 用 物 理 実 験	1								1				
	情 報 処 理 1	2	2											
	情 報 処 理 2	2			2									
	数 値 計 算 法	1							1					
	機 械 工 学 概 論	1	1											
	機 械 運 動 学	1						1						
	機 構 学 (前 期)	2									2		A	
	工 業 力 学	2			2									
	機械力学(前期)	2							2				A	
	機械力学(後期)	2								2			A	
	材 料 力 学 1	2					2							
	材料力学2(前期)	2							2				A	
	材料力学2(後期)	2								2			A	
	材 料 学 1	2					2							
	材料学2(前期)	2									2		A	
	熱力学(前期)	2							2				A	
	熱力学(後期)	2								2			A	
	水力学(前期)	2							2				A	
	水力学(後期)	2								2			A	
	機 械 工 作 法	2					2							
	図 学 製 図	2			2									
	設 計 製 図 1	2					2							
	設 計 製 図 2	2							2					
	電 気 電 子 回 路	2					2							
	論 理 回 路	1							1				B	
	自 動 制 御	1								1			B	
	ロボット制御(前期)	2									2		A	
	計 測 工 学	1					1							
	センサ工学(前期)	2									2		A	
	工 業 英 語 演 習	1								1				
	論文作成技法	1										1		
	課 題 研 究	1								1				
	工 学 演 習	1									1			
	工 学 実 験 1	1		1										
	工 学 実 験 2	2			2									
	工 学 実 験 3	2					2							
	工 学 実 験 4	2							2					
	工 学 実 験 5	1									1			
	製 作 実 習 1	2			2									
	製 作 実 習 2	2					2							
	製 作 実 習 3	1							1					
	製 作 実 習 4	1									1			
	電 気 工 学 実 験	1								1				
	卒 業 研 究	8									8			
	開 設 単 位 計	82		4		10		17		31		20		学修単位数29

区分	授 業 科 目	単位 数	学 年 別 配 当 単 位 数										学修 単位	備 考
			1 年		2 年		3 年		4 年		5 年			
			前	後	前	後	前	後	前	後	前	後		
必 選	応 用 数 学 B	2							2				A	2科目中1科目を必修
	応 用 数 学 C	2								2			A	
	開 設 単 位 計	4	0		0		0		4		0			
選 択 科 目	統 計 学	2									2		A	
	応 用 物 理 3	1									1			
	設 計 法	2							2					
	伝 熱 工 学	1									1			
	流 体 力 学	1									1			
	数 値 流 体 力 学	1										1		
	マ イ コ ン 制 御	1								1				
	自 動 車 工 学	1									1			
	機 構 学（後期）	1										1		
	材 料 学 2（後期）	1										1		
	ロ ボ ッ ト 制 御（後期）	1										1		
	セ ン サ 工 学（後期）	1										1		
	学 外 実 習	2								2				
	開 設 単 位 計	16	0		0		0		5		11		0	学修単位数2
特 別 学 修	一般及び専門の特別学修と本校以外の教育施設における学修をあわせて最大10単位まで有効												[注2]	
本校以外の教育施設における学修													[注3]	
開設単位合計		102	4		10		17		40		31		35	特別学修および本校以外の教育施設における学修は含まない

注1：A（1単位：15時間＋自学自習30時間） 1履修単位→1.5学修単位

B（1単位：22.5時間＋自学自習22.5時間） 1履修単位→1学修単位

注2：特別学修の内容は、別に定める。

注3：本校以外の教育施設における学修の手続きは、別に定める。

専門科目

機械工学科【5年生】

区 分	授 業 科 目	単 位 数	学 年 別 配 当 単 位 数										備 考
			1 年		2 年		3 年		4 年		5 年		
			前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	
必	応 用 数 学 A	1							1				B [注 1]
	応 用 数 学 B	1							1				B
	応 用 数 学 C	1								1			B
	統 計 学	1									1		B
	応 用 物 理 I	1					1						
	応 用 物 理 II	1							1				B
	応 用 物 理 実 験	1								1			
	情 報 処 理 I	2		2									
	情 報 処 理 II	2			2								
	数 値 計 算 法	1							1				
修	機 械 工 学 概 論	1	1										
	機 械 運 動 学	1					1						
	機 構 学	3									3		A
	工 業 力 学	2			2								
	機 械 力 学	3							3				A
	材 料 力 学 I	2					2						
	材 料 力 学 II	3							3				A
	材 料 学 I	2					2						
	材 料 学 II	3									3		A
	熱 力 学	3							3				A
科	水 力 学	3							3				A
	機 械 工 作 法	2					2						
	図 学 製 図	2			2								
	設 計 製 図 I	2					2						
	設 計 製 図 II	2							2				
	電 気 電 子 回 路	2					2						
	論 理 回 路	1							1				B
	自 動 制 御	1								1			B
	ロ ボ ッ ト 制 御	3									3		A
	計 測 工 学	1					1						
目	セ ン サ 工 学	3									3		A
	工 業 英 語 演 習	1								1			
	論 文 作 成 技 法	1									1		
	課 題 研 究	1								1			
	工 学 演 習	1									1		
	工 学 実 験 I	1		1									
	工 学 実 験 II	2			2								
	工 学 実 験 III	2					2						
	工 学 実 験 IV	2							2				
	工 学 実 験 V	1									1		
	製 作 実 習 I	2			2								
	製 作 実 習 II	2					2						
	製 作 実 習 III	1							1				
	製 作 実 習 IV	1									1		
	電 気 工 学 実 験	1								1			
	卒 業 研 究	8									8		
	開 設 単 位 計	84	4		10		17		28		25		学修単位数 31

区 分	授 業 科 目	単 位 数	学 年 別 配 当 単 位 数										備 考
			1 年		2 年		3 年		4 年		5 年		
			前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	
選 択 科 目	応 用 物 理 III	1									1		
	設 計 法	2							2				
	伝 熱 工 学	1									1		
	流 体 力 学	1									1		
	数 値 流 体 力 学	1										1	
	マイコン制御	1								1			
	自 動 車 工 学	1									1		
	学 外 実 習	2							2				
目	開 設 単 位 計	10	0		0		0		5		5		
	特 別 学 修	一般および専門の特別学修と本校以外の教育施設に											[注 2]
	本校以外の教育施設における学修	における学修をあわせて最大 10 単位まで有効											[注 3]
開 設 単 位 合 計		94	4		10		17		33		30		特別学修および 本校以外の教育 施設における学 修は含まない

注 1： A（1 単位：15 時間＋自学自習 30 時間） 1 履修単位→1.5 学修単位

B（1 単位：22.5 時間＋自学自習 22.5 時間） 1 履修単位→1 学修単位

注 2：特別学修の内容は、別に定める。

注 3：本校以外の教育施設における学修の手続きは、別に定める。

電気電子工学科【1年生】

区分	授 業 科 目	単 位 数	学 年 別 配 当 単 位 数										学 修 単 位	備 考
			1 年		2 年		3 年		4 年		5 年			
			前	後	前	後	前	後	前	後	前	後		
必修科目	応 用 物 理 実 験	1							1					
	技 術 者 入 門 Ⅰ	1	1											
	技 術 者 入 門 Ⅱ	1		1										
	電気電子工学入門	1		1										
	工学基礎演習Ⅰ	1				1								
	工学基礎演習Ⅱ	1						1						
	電気磁気学ⅠA	1			1									
	電気磁気学ⅠB	1				1								
	電気磁気学ⅡA	1					1							
	電気磁気学ⅡB	1						1						
	電気磁気学ⅢA	2							2				A	
	電気磁気学ⅢB	2								2			A	
	電気回路ⅠA	1			1									
	電気回路ⅠB	1				1								
	電気回路ⅡA	1					1							
	電気回路ⅡB	1						1						
	電気回路ⅢA	2							2				A	
	電気回路ⅢB	2								2			A	
	電子回路Ⅰ	2							2				A	
	電子回路Ⅱ	2								2			A	
	電気機器Ⅰ	2							2				A	
	電気機器Ⅱ	2								2			A	
	電子計測	2									2		A	
	制御工学	2								2			A	
	電子工学Ⅰ	1						1						
	電子工学Ⅱ	1							1					
	電力工学Ⅰ	2										2	A	
	情報リテラシー	1	1											
	プログラミングⅠ	1		1										
	プログラミングⅡ	1			1									
	デジタル回路Ⅰ	1		1										
	デジタル回路Ⅱ	1						1						
	組み込みシステム“ラミナ”	1						1						
電気電子製図Ⅰ	1	1												
実験実習ⅠA	2				2									
実験実習ⅠB	2					2								
実験実習ⅡA	2						2							
実験実習ⅡB	2							2						
実験実習ⅢA	2								2					
実験実習ⅢB	2									2				
機械工作実習	1							1						
課題研究	2									2				
卒業研究	8										8			
開設単位計	68		7		10		14		25		12		学修単位数22	

区分	授 業 科 目	単位 数	学 年 別 配 当 単 位 数										学 修 単 位	備 考
			1 年		2 年		3 年		4 年		5 年			
			前	後	前	後	前	後	前	後	前	後		
必修 選択科目	プロジェクト実習	1					1							一般特別セミナー と同時開講、いず れか選択
	応 用 数 学 A	2						2					A	1科目以上を選択
	応 用 数 学 C	2						2					A	
	開 設 単 位 計	5	0		0		1		4		0			
選択科目	統 計 学	2									2		A	
	応 用 数 学 B	2										2	A	
	応 用 物 理	1									1			
	工 業 英 語	2							2				A	
	情 報 伝 送 工 学	2							2				A	
	電 気 電 子 材 料	1									1			
	高電圧大電流工学	1									1			
	ハ ^ブ リーエレクトロニクス	1									1			
	情報ネットワーク	1										1		
	ロ ボ ッ ト 制 御	1										1		
	情 報 通 信	2									2		A	
	半 導 体 工 学 I	2									2		A	
	電 力 工 学 II	2										2	A	
	電 気 電 子 製 図 II	1										1		
	電 気 法 規	1									1			
	学 外 実 習	2							2					
開 設 単 位 計	24	0		0		0		6		18			学修単位数14	
特 別 学 修	一般及び専門の特別学修と本校以外の教育施設における学修をあわせて最大10単位まで有効													[注2]
本校以外の教育施設における学修														[注3]
開設単位合計		97	7		10		15		35		30		40	特別学修および本 校以外の教育施設 における学修は含 まない

注1：A（1単位：15時間＋自学自習30時間） 1履修単位→2.0学修単位

注2：特別学修の内容は、別に定める。

注3：本校以外の教育施設における学修の手続きは、別に定める。

専門科目
電気電子工学科【2～4年生】

区分	授 業 科 目	単 位 数	学 年 別 配 当 単 位 数										学 修 単 位	備 考
			1 年		2 年		3 年		4 年		5 年			
			前	後	前	後	前	後	前	後	前	後		
必修科目	工業英語演習	1							1					
	応 用 物 理 1	1					1							
	応 用 物 理 2	1							1				B	
	応 用 物 理 実 験	1						1						
	電気電子工学概論	2	2											
	工学基礎演習1	1			1									
	工学基礎演習2	2					2							
	電 気 磁 気 学 1	2			2									
	電 気 磁 気 学 2	2					2							
	電気磁気学3(前期)	2						2					A	
	電気磁気学3(後期)	2							2				A	
	電 気 回 路 1	2			2									
	電 気 回 路 2	2					2							
	電気回路3(前期)	2						2					A	
	電気回路3(後期)	2							2				A	
	電 子 工 学	2					2							
	情 報 処 理 1	2	2											
	情 報 処 理 2	1				1								
	コンピュータ工学1	1			1									
	コンピュータ工学2	1					1							
	コンピュータ実習	1					1							
	情報処理演習	1						1						
	実 験 実 習 1	3			3									
	実 験 実 習 2	4					4							
	実 験 実 習 3	4							4					
	実 験 実 習 4	2									2			
機械工作実習	1						1							
課 題 研 究	2								2					
卒 業 研 究	8									8				
開設単位計	58	4		10		17		17		10			学修単位数9	

区分	授 業 科 目	単位 数	学 年 別 配 当 単 位 数										学 修 単 位	備 考
			1 年		2 年		3 年		4 年		5 年			
			前	後	前	後	前	後	前	後	前	後		
必修 選 択 科 目	応 用 数 学 A	2							2				A	1科目以上選択
	応 用 数 学 C	2							2				A	
	電気機器(前期)	2							2				A	4科目以上選択
	電気機器(後期)	2								2			A	
	電子回路1(前期)	2							2				A	
	電子回路1(後期)	2								2			A	
	情報伝送工学(前期)	2							2				A	
	情報伝送工学(後期)	2								2			A	
	電気数学演習A	1							1					1科目以上選択
	電気数学演習B	1								1				
	制御工学(前期)	2									2		A	4科目以上選択
	制御工学(後期)	2										2	A	
	半導体工学(前期)	2									2		A	
	半導体工学(後期)	2										2	A	
	コンピュータ工学3(前期)	2									2		A	
	コンピュータ工学3(後期)	2										2	A	
	開 設 単 位 計	30	0	0	0	0	18	12		学修単位数28				
選 択 科 目	応 用 数 学 B	2							2				A	
	統 計 学	2								2			A	
	応 用 物 理 3	1								1				
	情 報 通 信 1	1							1					
	情 報 通 信 2	1									1			
	電気電子材料	1									1			
	電 子 計 測	1										1		
	電子回路2(前期)	1									1			
	電子回路2(後期)	1										1		
	放 電 工 学	1							1					
	高電圧大電流工学	1									1			
	電力工学(前期)	1									1			
	電力工学(後期)	1										1		
	パワーエレクトロニクス	1									1			
	回 路 網 理 論	1										1		
	電気電子製図(前期)	1							1					
	電気電子製図(後期)	1								1				
	電気法規(前期)	1									1			
	電気法規(後期)	1										1		
	学 外 実 習	2							2					
開 設 単 位 計	23	0	0	0	0	8	15		学修単位数4					
特 別 学 修	一般及び専門の特別学修と本校以外の教育施設における学修をあわせて最大10単位まで有効												[注2]	
本校以外の教育施設における学修													[注3]	
開設単位合計		111	4	10	17	43	37	41	特別学修および本校以外の教育施設における学修は含まない					

注1：A（1単位：15時間＋自学自習30時間） 1履修単位→1.5学修単位

B（1単位：22.5時間＋自学自習22.5時間） 1履修単位→1学修単位

注2：特別学修の内容は、別に定める。

注3：本校以外の教育施設における学修の手続きは、別に定める。

専 門 科 目

電気電子工学科【5年生】

区 分	授 業 科 目	単 位 数	学 年 別 配 当 単 位 数										備 考
			1 年		2 年		3 年		4 年		5 年		
			前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	
必 修 科 目	応 用 数 学 A	1							1				B [注 1]
	応 用 数 学 B	1								1			B
	応 用 数 学 C	1							1				B
	統 計 学	1									1		B
	工業英語演習	1								1			
	応 用 物 理 I	1						1					
	応 用 物 理 II	1								1			B
	応用物理実験	1								1			
	電気電子工学概論	2	2										
	工学基礎演習Ⅰ	1			1								
	工学基礎演習Ⅱ	2					2						
	電気磁気学Ⅰ	2			2								
	電気磁気学Ⅱ	2					2						
	電気磁気学Ⅲ	3								3			A
	電気回路Ⅰ	2			2								
	電気回路Ⅱ	2					2						
	電気回路Ⅲ	3								3			A
	電子工学	2					2						
	情報処理Ⅰ	2	2										
	情報処理Ⅱ	1			1								
	コンピュータ工学Ⅰ	1			1								
	コンピュータ工学Ⅱ	1					1						
	コンピュータ実習	1					1						
	情報処理演習	1						1					
	実験実習Ⅰ	3			3								
	実験実習Ⅱ	4					4						
	実験実習Ⅲ	4								4			
	実験実習Ⅳ	2									2		
	機械工作実習	1						1					
	課題研究	2								2			
	卒業研究	8									8		
	開設単位計	60		4		10		17		18		11	学修単位数 11

区 分	授 業 科 目	単 位 数	学 年 別 配 当 単 位 数										備 考	
			1 年		2 年		3 年		4 年		5 年			
			前	後	前	後	前	後	前	後	前	後		
必修 選択	電 気 機 器	3								3			A	3 科目中、2 科目以上選 択
	電 子 回 路 I	3								3			A	
	情 報 伝 送 工 学	3								3			A	
	電気数学演習 A	1							1				2 科目中、1 科目 以上選択	
	電気数学演習 B	1								1				
	制 御 工 学	3										3	A	3 科目中、2 科目以上選 択
	半 導 体 工 学	3										3	A	
	コンピュータ工学Ⅲ	3										3	A	
開 設 単 位 計	20	0		0		0		11		9		学修単位数 18		
選択 科目	応 用 物 理 Ⅲ	1									1			
	情 報 通 信 I	1							1					
	情 報 通 信 Ⅱ	1										1		
	電気電子材料	1										1		
	電 子 計 測	1										1		
	電 子 回 路 Ⅱ	2										2		
	放 電 工 学	1							1					
	高電圧大電流工学	1									1			
	電 力 工 学	2										2		
	パワーエレクトロニクス	1										1		
	回 路 網 理 論	1											1	
	電気電子製図	2							2					
	電 気 法 規	2										2		
学 外 実 習	2							2						
開 設 単 位 計	19	0		0		0		6		13				
特 別 学 修	一般および専門の特別学修と本校以外の教育施設に												[注 2]	
本校以外の教育施設における学修	おける学修をあわせて最大 10 単位まで有効												[注 3]	
開 設 単 位 合 計		99	4		10		17		35		33	特別学修および本校以外の教育施設における学修は含まない		

注 1：A（1 単位：15 時間＋自学自習 30 時間） 1 履修単位→1.5 学修単位

B（1 単位：22.5 時間＋自学自習 22.5 時間） 1 履修単位→1 学修単位

注 2：特別学修の内容は、別に定める。

注 3：本校以外の教育施設における学修の手続きは、別に定める。

〈主任技術者認定科目一覧表〉

区 分	授 業 科 目	単 位 数					◎は 必修	必要 単位数
		1 年	2 年	3 年	4 年	5 年		
1. 電気電子理論 電気工学又は電子工学等の基礎に関する科目	電 気 磁 気 学 I		2				◎	15 単 位
	電 気 磁 気 学 II			2			◎	
	電 気 磁 気 学 III				3		◎	
	電 気 回 路 I		2				◎	
	電 気 回 路 II			2			◎	
	電 気 回 路 III				3		◎	
	電 子 計 測					1	◎	
2. 電力発生輸送 発電、変電、送電、配電及び電気材料並びに電気法規に関する科目	電 力 工 学					2	◎	7 単 位
	電 気 電 子 材 料					1	◎	
	電 気 法 規					2	◎	
	放 電 工 学				1		◎	
	高 電 圧 大 電 流 工 学					1	◎	
3. 電気利用等 電気及び電子機器、自動制御、電気エネルギー利用並びに情報伝達及び処理に関する科目	電 気 機 器				3		◎	9 単 位 以 上
	パワーエレクトロニクス					1	◎	
	制 御 工 学					3	◎	
	情 報 処 理 I	2						
	情 報 処 理 II		1					
	コンピュータ工学 I		1					
	コンピュータ工学 II			1				
4. 実験・実習	実 験 実 習 I		3				◎	13 単 位
	実 験 実 習 II			4			◎	
	実 験 実 習 III				4		◎	
	実 験 実 習 IV					2	◎	
5. 設計・製図	電 気 電 子 製 図				2		◎	2単位

電子制御工学科【1年生】

区分	授 業 科 目	単位 数	学 年 別 配 当 単 位 数										学 修 単 位	備 考
			1 年		2 年		3 年		4 年		5 年			
			前	後	前	後	前	後	前	後	前	後		
必修科目	統 計 学	2									2		A	
	応 用 物 理 実 験	1							1					
	計 算 機 演 習	1	1											
	プログラミング技法Ⅰ	1			1									
	プログラミング技法Ⅱ	1				1								
	製 図 Ⅰ	1			1									
	製 図 Ⅱ	1				1								
	機械制御入門Ⅰ	1	1											
	機械制御入門Ⅱ	1		1										
	工 業 力 学	1					1							
	機 械 力 学	1						1						
	材 料 力 学 Ⅰ	2							2				A	
	材 料 力 学 Ⅱ	2								2			A	
	材 料 力 学 Ⅲ	2									2		A	
	機械設計工学Ⅰ	2								2			A	
	機械設計工学Ⅱ	2									2		A	
	電 磁 気 学 Ⅰ	1				1								
	電 磁 気 学 Ⅱ	1					1							
	電 磁 気 学 Ⅲ	1						1						
	電 気 回 路 Ⅰ	1			1									
	電 気 回 路 Ⅱ	1					1							
	電 気 回 路 Ⅲ	1						1						
	電 子 工 学 Ⅰ	1					1							
	電 子 工 学 Ⅱ	1						1						
	電 子 回 路 Ⅰ	2							2				A	
	電 子 回 路 Ⅱ	2								2			A	
	電 子 回 路 Ⅲ	2									2		A	
	電 子 計 算 機 Ⅰ	1		1										
	電 子 計 算 機 Ⅱ	1			1									
	情 報 処 理 Ⅰ	2							2				A	
	情 報 処 理 Ⅱ	2								2			A	
	電 子 計 算 機 Ⅲ	1				1								
	計 測 工 学 Ⅰ	1					1							
	計 測 工 学 Ⅱ	1						1						
制 御 工 学 Ⅰ	2							2				A		
制 御 工 学 Ⅱ	2								2			A		
制 御 工 学 Ⅲ	2									2		A		
制 御 工 学 Ⅳ	2										2	A		
制 御 機 器	2										2	A		
情 報 工 学	2										2	A		
工業英語演習	1								1					
技術者入門Ⅰ	1	1												
技術者入門Ⅱ	1		1											
実験実習Ⅰ	1			1										
実験実習Ⅱ	1				1									
実験実習Ⅲ	2					2								
実験実習Ⅳ	2						2							
実験実習Ⅴ	2							2						
課題研究	2								2					
卒業研究	8									4	4			
開設単位計	78		6		10		14		24		24		学修単位数34	

区分	授 業 科 目	単位 数	学 年 別 配 当 単 位 数										学修 単位	備 考
			1 年		2 年		3 年		4 年		5 年			
			前	後	前	後	前	後	前	後	前	後		
必修 選択科目	プロジェクト実習	1					1							一般特別セミナーと 同時開講、いずれか 選択
	応 用 数 学 A	2							2				A	2科目以上を選択
	応 用 数 学 B	2								2			A	
	応 用 数 学 C	2							2				A	
	開 設 単 位 計	7		0		0		1		6		0		学修単位数6
選 択 科 目	応 用 物 理	1									1			
	電 磁 気 学Ⅳ	1							1					
	電 気 回 路Ⅳ	1								1				
	流 体 力 学	1									1			
	熱 力 学	1										1		
	電 子 工 学Ⅲ	1							1					
	電 子 工 学Ⅳ	1								1				
	計 算 機 制 御 工 学	1										1		
	ロ ボ ッ ト 工 学Ⅰ	1									1			
	ロ ボ ッ ト 工 学Ⅱ	1										1		
	シ ス テ ム 工 学	1										1		
	学 外 実 習	2							2					
	電 子 回 路Ⅳ	1										1		
	開 設 単 位 計	14		0		0		0		6		8		学修単位数
特 別 学 修													[注2]	
本校以外の教育施設 における学修	一般及び専門の特別学修と本校以外の教育施設における学 修をあわせて最大10単位まで有効												[注3]	
開設単位合計		99	6	10	15	36	32	40	特別学修および本 校以外の教育施設 における学修は含 まない					

注1：A（1単位：15時間＋自学自習30時間） 1履修単位→2.0学修単位

注2：特別学修の内容は、別に定める。

注3：本校以外の教育施設における学修の手続きは、別に定める。

専 門 科 目
電子制御工学科【2～4年生】

区分	授 業 科 目	単位数	学 年 別 配 当 単 位 数										学修単位	備 考
			1 年		2 年		3 年		4 年		5 年			
			前	後	前	後	前	後	前	後	前	後		
必修科目	統 計 学	2									2		A	
	応 用 物 理 1	1					1							
	応 用 物 理 2	1							1				B	
	応用物理実験	1						1						
	プログラミング技法	2			2									
	製 図	2			2									
	機械制御入門	2	2											
	機 械 力 学	2					2							
	材 料 力 学 1	1					1							
	材料力学2(前期)	2						2					A	
	材料力学2(後期)	2							2				A	
	電 磁 気 学 1	2			2									
	電 磁 気 学 2	2				2								
	電 気 回 路 1	2				2								
	電 子 工 学 1	2				2								
	電子回路1(前期)	2						2					A	
	電子回路1(後期)	2							2				A	
	電子回路2(前期)	2								2			A	
	電子回路2(後期)	1									1		B	
	電 子 計 算 機 1	2			2									
	情 報 処 理	2					2							
	電子計算機2(前期)	2						2					A	
	電子計算機2(後期)	2							2				A	
	計 測 工 学	2					2							
	制御工学1(前期)	2						2					A	
	制御工学1(後期)	2							2				A	
	制御工学2(前期)	2								2			A	
	制御工学2(後期)	1									1		B	
	制御機器(前期)	2								2			A	
	制御機器(後期)	1									1		B	
	情報工学(前期)	2								2			A	
情報工学(後期)	1									1		B		
総 合 演 習	1					1								
工業英語演習	1							1						
実 験 実 習 1	2	2												
実 験 実 習 2	2			2										
実 験 実 習 3	3					3								
実 験 実 習 4	2						2							
課 題 研 究	2							2						
卒 業 研 究	8									8				
開設単位計	77	4		10		18		23		22			学修単位数31	

区分	授 業 科 目	単位 数	学 年 別 配 当 単 位 数										学 修 単 位	備 考
			1 年		2 年		3 年		4 年		5 年			
			前	後	前	後	前	後	前	後	前	後		
必 選	応 用 数 学 A	2							2				A	2科目以上選択
	応 用 数 学 B	2							2				A	
	応 用 数 学 C	2							2				A	
	開 設 単 位 計	6	0		0		0		6		0			学修単位数6
選 択 科 目	応 用 物 理 3	1									1			
	精密工学(前期)	1									1			
	精密工学(後期)	1										1		
	熱流体力学(前期)	1									1			
	熱流体力学(後期)	1										1		
	電気回路2(前期)	1							1					
	電気回路2(後期)	1								1				
	電子工学2(前期)	1							1					
	電子工学2(後期)	1								1				
	電 子 材 料	1											1	
	工業解析(前期)	1							1					
	工業解析(後期)	1								1				
	計算機制御工学(前期)	1									1			
	計算機制御工学(後期)	1										1		
	ロボット工学(前期)	1									1			
	ロボット工学(後期)	1										1		
	シ ス テ ム 工 学	1											1	
	設計工学(前期)	1							1					
	設計工学(後期)	1								1				
	学 外 実 習	2							2					
開 設 単 位 計	21	0		0		0		10		11			学修単位数	
特 別 学 修	一般及び専門の特別学修と本校以外の教育施設における学修をあわせて最大10単位まで有効												[注2]	
本校以外の教育施設における学修													[注3]	
開設単位合計		104	4		10		18		39		33		37	特別学修および本校以外の教育施設における学修は含まない

注1：A（1単位：15時間＋自学自習30時間） 1履修単位→1.5学修単位

B（1単位：22.5時間＋自学自習22.5時間） 1履修単位→1学修単位

注2：特別学修の内容は、別に定める。

注3：本校以外の教育施設における学修の手続きは、別に定める。

専門科目

電子制御工学科【5年生】

区 分	授 業 科 目	単 位 数	学 年 別 配 当 単 位 数										備 考
			1 年		2 年		3 年		4 年		5 年		
			前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	
必	応 用 数 学 A	1							1				B[注 1]
	応 用 数 学 B	1								1			B
	応 用 数 学 C	1							1				B
	統 計 学	1									1		B
	応 用 物 理 I	1					1						
	応 用 物 理 II	1								1			B
	応用物理実験	1							1				
	プログラミング技法	2			2								
	製 図	2			2								
	機械制御入門	2	2										
修	機 械 力 学	2					2						
	材 料 力 学 I	1					1						
	材 料 力 学 II	3							3				A
	電 磁 気 学 I	2			2								
	電 磁 気 学 II	2					2						
	電 気 回 路 I	2					2						
	電 子 工 学 I	2					2						
	電 子 回 路 I	3							3				A
	電 子 回 路 II	3									3		A
	電子計算機 I	2			2								
科	情 報 処 理	2					2						
	電子計算機 II	3							3				A
	計 測 工 学	2					2						
	制 御 工 学 I	3							3				A
	制 御 工 学 II	3									3		A
	制 御 機 器	3									3		A
	情 報 工 学	3									3		A
	総 合 演 習	1					1						
	工業英語演習	1								1			
	目	実 験 実 習 I	2	2									
実 験 実 習 II		2			2								
実 験 実 習 III		3					3						
実 験 実 習 IV		2							2				
課 題 研 究		2								2			
卒 業 研 究		8									8		
開設単位小計		75	4		10		18		22		21		学修単位数 29

区 分	授 業 科 目	単 位 数	学 年 別 配 当 単 位 数										備 考
			1 年		2 年		3 年		4 年		5 年		
			前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	
選 択 科 目	精 密 工 学	2									2		
	熱 流 体 力 学	2									2		
	電 気 回 路 Ⅱ	2							2				
	電 子 工 学 Ⅱ	2							2				
	電 子 材 料	1										1	
	工 業 解 析	2							2				
	計算機制御工学	2									2		
	ロ ボ ッ ト 工 学	2									2		
	シ ス テ ム 工 学	1										1	
	応 用 物 理 Ⅲ	1									1		
	設 計 工 学	2							2				
	学 外 実 習	2							2				
開 設 単 位 小 計	21	0		0		0		10		11			
特 別 学 修	一般及び専門の特別学修と本校以外の教育施設に											[注 2]	
本校以外の教育施設における学修	における学修を合わせて最大 10 単位まで有効											[注 3]	
開 設 単 位 合 計	96	4		10		18		32		32	特別学修及び本校以外の教育施設における学修は含まない		

注 1： A（1 単位：15 時間＋自学自習 30 時間） 1 履修単位→1.5 学修単位

B（1 単位：22.5 時間＋自学自習 22.5 時間） 1 履修単位→1 学修単位

注 2：特別学修の内容は、別に定める。

注 3：本校以外の教育施設における学修の手続きは、別に定める。

情報工学科【1年生】

区分	授 業 科 目	単 位 数	学 年 別 配 当 単 位 数										学 修 単 位	備 考
			1 年		2 年		3 年		4 年		5 年			
			前	後	前	後	前	後	前	後	前	後		
必修科目	コンピュータ入門I	1	1											
	コンピュータ入門II	1		1										
	コンピュータ演習I	1	1											
	コンピュータ演習II	1		1										
	技術者入門I	1	1											
	技術者入門II	1		1										
	実験・実習IA	1	1											
	実験・実習IB	1		1										
	プログラミング基礎I	1			1									
	プログラミング基礎II	1				1								
	プログラミング演習IA	1			1									
	プログラミング演習IB	1				1								
	電気回路I	1			1									
	電気回路II	1				1								
	論理回路I	1			1									
	論理回路II	1				1								
	実験・実習IIA	1			1									
	実験・実習IIB	1				1								
	ネットワーク演習I	1					1							
	データ構造とアルゴリズムAI	1					1							
	データ構造とアルゴリズムAII	1						1						
	プログラミング演習IIA	1					1							
	プログラミング演習IIB	1						1						
	情報数学I	1					1							
	情報数学II	1						1						
	ネットワーク入門I	1					1							
	ネットワーク入門II	1						1						
	コンピュータアーキテクチャI	1					1							
	コンピュータアーキテクチャII	1						1						
	実験・実習IIIA	1					1							
	実験・実習IIIB	1						1						
	コンピュータアーキテクチャIII	1							1					
	インターフェース回路	1							1					
	プログラミング言語A	2							2				A	
	プログラミング言語B	2								2			A	
	言語処理系I	2							2				A	
	言語処理系II	2								2			A	
	オペレーティングシステムI	2							2				A	
	オペレーティングシステムII	2								2			A	
	計算機インターフェースI	2							2				A	
	計算機インターフェースII	2								2			A	
	情報セキュリティI	2							2				A	
	情報セキュリティII	2								2			A	
	プレゼンテーション技法	1								1				
	プログラミング演習IIIA	1							1					
	プログラミング演習IIIB	1								1				
	実験・実習IV	1							1					
	工業英語	1								1				
	課題研究	2								2				
	数値計算	2									2		A	
	ソフトウェア設計I	2									2		A	
	ソフトウェア設計II	2										2	A	
	情報理論I	1									1			
	情報理論II	1										1		
	ネットワークシステムI	2									2		A	
	ネットワークシステムII	2										2	A	
	卒業研究	8									4	4		
	開設単位計	80		8		10		13		29		20		学修単位数30

区分	授 業 科 目	単位 数	学 年 別 配 当 単 位 数										学修 単位	備 考
			1 年		2 年		3 年		4 年		5 年			
			前	後	前	後	前	後	前	後	前	後		
必修 選択科目	プロジェクト実習	1					1						一般特別セミナー と同時開講、いずれか選択	
	応 用 数 学 A	2							2				A	2科目必修、残りは 選択科目となる
	応 用 数 学 B	2								2			A	
	統 計 学	2							2				A	
	開 設 単 位 計	7		0		0		1		6		0		学修単位数6
選 択 科 目	学 外 実 習	2							2					
	画像情報システム	1									1			
	知 能 シ ス テ ム	1									1			
	制御情報システム	1									1			
	分散情報システム	1										1		
	信 号 処 理 工 学	1										1		
	認 知 科 学	1									1			
	データマイニング	1										1		
	ハ°イオインフォマティクス	1										1		
	メディアデザイン	1										1		
	計 測 シ ス テ ム	1										1		
	開 設 単 位 計	12		0		0		0		2		10		学修単位数
	特 別 学 修	一般及び専門の特別学修と本校以外の教育施設における学修をあわせて最大10単位まで有効												[注2]
本校以外の教育施設における学修													[注3]	
開設単位合計		99		8		10		14		37		30	36	特別学修および本校以外の教育施設における学修は含まない

注1：A（1単位：15時間＋自学自習30時間） 1履修単位→2.0学修単位

注2：特別学修の内容は、別に定める。

注3：本校以外の教育施設における学修の手続きは、別に定める。

専門科目
情報工学科【2～4年生】

区分	授 業 科 目	単 位 数	学 年 別 配 当 単 位 数										学 修 単 位	備 考
			1 年		2 年		3 年		4 年		5 年			
			前	後	前	後	前	後	前	後	前	後		
必修科目	応 用 物 理 I	1					1							
	応 用 物 理 II	1							1				B	
	応 用 物 理 実 験	1							1					
	コンピュータ入門	2		2										
	技 術 者 入 門 I	1	1											
	技 術 者 入 門 II	1		1										
	プログラミング言語	2			2									
	データ構造アルゴリズム	2					2							
	言語処理系 I	2							2				A	
	言語処理系 II	2								2			A	
	オペレーティングシステムI	2							2				A	
	オペレーティングシステムII	2								2			A	
	ソフトウェア設計I	2									2		A	
	ソフトウェア設計II	2										2	A	
	シミュレーション工学I	2									2		A	
	シミュレーション工学II	2										2	A	
	情 報 数 学	2					2							
	情 報 理 論 I	2									2		A	
	情 報 理 論 II	2										2	A	
	ネットワーク入門	2					2							
	情報通信システムI	2									2		A	
	情報通信システムII	2										2	A	
	論 理 回 路	2			2									
	電 気 回 路	2			2									
	電 子 回 路	2					2							
	電子計算機 I	2					2							
	電子計算機 II	2							2				A	
	電子計算機 III	2								2			A	
	計算機インターフェースI	2							2				A	
	計算機インターフェースII	2								2			A	
	計算機システムI	2									2		A	
	計算機システムII	2										2	A	
	工業英語演習	1							1					
	理工学演習 I	1							1					
	理工学演習 II	1								1				
	ドキュメント書法演習	1								1				
	プログラミング演習 I	2			2									
	プログラミング演習 II	2					2							
	プログラミング演習 III	1							1					
	プログラミング演習 IV	1								1				
	実 験 実 習 I	2		2										
	実 験 実 習 II	2			2									
	実 験 実 習 III	2					2							
	実 験 実 習 IV	2							2					
	課 題 研 究	2								2				
	卒 業 研 究	7									7			
	開設単位計	86		6		10		15		28		27		学修単位数37

区分	授 業 科 目	単位 数	学 年 別 配 当 単 位 数										学修 単位	備 考
			1 年		2 年		3 年		4 年		5 年			
			前	後	前	後	前	後	前	後	前	後		
必修 選択科目	プロジェクト実習	1					1							一般特別セミナー と同時開講、いづれ れか選択
	応 用 数 学 A	2							2				A	2科目以上選択
	応 用 数 学 B	2							2				A	
	統 計 学	2								2			A	
	開 設 単 位 計	7		0		0		1		6		0		学修単位数6
選 択 科 目	応 用 物 理 III	1									1			
	制 御 工 学 I	1							1					
	制 御 工 学 II	1								1				
	半 導 体 工 学 I	1									1			
	半 導 体 工 学 II	1										1		
	知能システムⅠ	1									1			
	知能システムⅡ	1										1		
	信号処理工学Ⅰ	1									1			
	信号処理工学Ⅱ	1										1		
	画像情報システムⅠ	1									1			
	画像情報システムⅡ	1										1		
	分散情報システムⅠ	1									1			
	分散情報システムⅡ	1										1		
	学 外 実 習	2								2				
開 設 単 位 計	15		0		0		0		4		11		学修単位数	
特 別 学 修	一般及び専門の特別学修と本校以外の教育施設における学修をあわせて最大10単位まで有効												[注2]	
本校以外の教育施設 における学修													[注3]	
開設単位合計		108		6		10		16		38		38	43	特別学修および本校 以外の教育施設 における学修は含 まない

注1：A（1単位：15時間＋自学自習30時間） 1履修単位→1.5学修単位

B（1単位：22.5時間＋自学自習22.5時間） 1履修単位→1学修単位

注2：特別学修の内容は、別に定める。

注3：本校以外の教育施設における学修の手続きは、別に定める。

専門科目

情報工学科【5年生】

区 分	授 業 科 目	単 位 数	学 年 別 配 当 単 位 数										備 考
			1 年		2 年		3 年		4 年		5 年		
			前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	
必	応 用 物 理 I	1					1						
	応 用 物 理 II	1							1				B [注 1]
	応用物理実験	1						1					
	応 用 数 学 A	1						1					B
	応 用 数 学 B	1						1					B
	統 計 学	1							1				B
	コンピュータ入門	2	2										
	プログラミング言語	2			2								
	データ構造アルゴリズム	2					2						
	言 語 処 理 系	3							3				A
修	オペレーティングシステム	3							3				A
	ソフトウェア設計	3									3		A
	シミュレーション工学	3									3		A
	情 報 数 学	2					2						
	情 報 理 論	3									3		A
	ネットワーク入門	2					2						
	情報通信システム	3									3		A
	論 理 回 路	2			2								
	電 気 回 路	2			2								
	電 子 回 路	2					2						
科	電子計算機 I	2					2						
	電子計算機 II	3							3				A
	計算機インターフェース	3							3				A
	計算機システム	3									3		A
	工業英語演習	1							1				
	理 工 学 演 習	2							2				
	ドキュメント書法演習	1								1			
	プログラミング演習 I	2			2								
	プログラミング演習 II	2					2						
	プログラミング演習 III	2							2				
目	実験・実習 I	2	2										
	実験・実習 II	2			2								
	実験・実習 III	2					2						
	実験・実習 IV	2							2				
	課 題 研 究	2								2			
	卒 業 研 究	7									7		
	開設単位計	78	4		10		15		27		22		学修単位数 31

区 分	授 業 科 目	単 位 数	学 年 別 配 当 単 位 数										備 考
			1 年		2 年		3 年		4 年		5 年		
			前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	
選 択 科 目	応 用 物 理 Ⅲ	1									1		
	制 御 工 学	2							2				
	半 導 体 工 学	2									2		
	知 能 シ ス テ ム	2									2		
	信 号 処 理 工 学	2									2		
	画 像 情 報 シ ス テ ム	2									2		
	分 散 情 報 シ ス テ ム	2									2		
	学 外 実 習	2							2				
	開 設 単 位 計	15	0		0		0		4		11		
	特 別 学 修	一般および専門の特別学修と本校以外の教育施設											[注 2]
本校以外の教育施設 における学修	における学修をあわせて最大 10 単位まで有効											[注 3]	
開 設 単 位 合 計		93	4		10		15		31		33		特別学修および 本校以外の教育 施設における学 修は含まない

注 1： A（1 単位：15 時間＋自学自習 30 時間） 1 履修単位→1.5 学修単位

B（1 単位：22.5 時間＋自学自習 22.5 時間） 1 履修単位→1 学修単位

注 2：特別学修の内容は、別に定める。

注 3：本校以外の教育施設における学修の手続きは、別に定める。

環境都市工学科【1年生】

区分	授 業 科 目	単 位 数	学 年 別 配 当 単 位 数										学 修 単 位	備 考	
			1 年		2 年		3 年		4 年		5 年				
			前	後	前	後	前	後	前	後	前	後			
必修科目	統 計 学	2										2		A	
	応 用 物 理	1										1			
	環境都市工学概論Ⅰ	1	1												
	技 術 者 入 門Ⅰ	1	1												
	技 術 者 入 門Ⅱ	1		1											
	情 報 処 理 入 門	1	1												
	測 量 学Ⅰ	1		1											
	力 学 基 礎	1		1											
	環境都市工学概論Ⅱ	1			1										
	測 量 学Ⅱ	1			1										
	測 量 学Ⅲ	1				1									
	構 造 力 学Ⅰ	1			1										
	構 造 力 学Ⅱ	1				1									
	建 設 材 料 学	1			1										
	材 料 実 験	2				2									
	測 量 実 習 A	1			1										
	測 量 実 習 B	1				1									
	プログラミング演習	1						1							
	測 量 学Ⅳ	1					1								
	土木総合学習Ⅰ	1						1							
	水 理 学Ⅰ	1					1								
	水 理 学Ⅱ	1						1							
	土 質 力 学Ⅰ	1					1								
	土 質 力 学Ⅱ	1						1							
	コンクリート構造学Ⅰ	1					1								
	コンクリート構造学Ⅱ	2						2						A	
	環 境 概 論	1					1								
	上下水道工学Ⅰ	2						2						A	
	水 環 境 工 学	1					1								
	測 量 実 習 C	1					1								
	構 造 力 学Ⅲ	2							2					A	
	構 造 力 学Ⅳ	2								2				A	
	水 理 学Ⅲ	2							2					A	
	水 理 学Ⅳ	2								2				A	
	土 質 力 学Ⅲ	2							2					A	
	土 質 力 学Ⅳ	2								2				A	
	コンクリート構造設計学	2							2					A	
	上下水道工学Ⅱ	2							2					A	
	水域システム工学	2								2				A	
	コンクリート構造設計製図	2								2					
	土木総合学習Ⅱ	1								1					
	防 災 工 学	2								2				A	
	水 理 実 験	2							2						
	土 質 実 験	2							2						
	応 用 物 理 実 験	1								1					
	課 題 研 究	1								1					
	環 境 統 計 学	2									2		A		
	土木英語演習	1									1				
	卒 業 研 究Ⅰ	2									2				
	卒 業 研 究Ⅱ	6										6			
	開設単位計	74	6		10		15		29		14			学修単位数28	

区分	授 業 科 目	単 位 数	学 年 別 配 当 単 位 数										学 修 単 位	備 考
			1 年		2 年		3 年		4 年		5 年			
			前	後	前	後	前	後	前	後	前	後		
必修 選択科目	プロジェクト実習	1					1							一般特別セミナーと 同時開講、いずれか 選択
	応 用 数 学 A	2							2				A	2科目必修、残りは 選択科目となる
	応 用 数 学 B	2							2				A	
	応 用 数 学 C	2								2			A	
	環 境 工 学 実 験	2									2			同時開講 いずれかを選択
	構 造 工 学 実 験	2									2			
	開 設 単 位 計	11	0		0		1		6		4			学修単位数6
選 択 科 目	水 資 源 工 学	2						2					A	
	土木総合学習III	1									1			
	生 態 環 境 工 学	1										1		
	計 算 工 学	1									1			
	建設プロジェクト実践	1										1		
	橋 構 造	1									1			
	耐 震 構 造	1										1		
	プレストレストコンクリート工学	1										1		
	環 境 管 理 手 法	2									2		A	
	空 間 情 報 工 学	2									2		A	
	学 外 実 習	2							2					
開 設 単 位 計	15	0		0		2		2		11			学修単位数6	
特 別 学 修	一般及び専門の特別学修と本校以外の教育施設における学修をあわせて最大10単位まで有効												[注2]	
本校以外の教育施設における学修													[注3]	
開設単位合計		100	6		10		18		37		29		40	特別学修および本校 以外の教育施設 における学修は含 まない

注1：A（1単位：15時間＋自学自習30時間） 1履修単位→2.0学修単位

注2：特別学修の内容は、別に定める。

注3：本校以外の教育施設における学修の手続きは、別に定める。

専門科目

環境都市工学科【2～4年生】

区分	授 業 科 目	単 位 数	学 年 別 配 当 単 位 数										学 修 単 位	備 考
			1 年		2 年		3 年		4 年		5 年			
			前	後	前	後	前	後	前	後	前	後		
必修科目	統 計 学	2									2		A	
	応 用 物 理 1	1					1							
	応 用 物 理 2	1						1						
	応 用 物 理 実 験	1							1					
	環境都市工学概論1	1	1											
	図 学	1	1											
	情 報 処 理 入 門	1		1										
	測 量 学 1	1		1										
	環境都市工学概論2	1			1									
	コンピュータ基礎演習	1				1								
	測量学2（通年）	2			2									
	測量実習A（通年）	2			2									
	構造力学1（通年）	2			2									
	建設材料学（通年）	2			2									
	測 量 学 3	1					1							
	測量実習B（3年）	1					1							
	構造力学2（3年）	2					2							
	水理学1（通年）	2					2							
	土質力学1（通年）	2					2							
	鉄筋コンクリート工学1	2					2							
	環 境 概 論	1						1						
	構 造 力 学 演 習	1						1						
	材料実験（3年）	2						2						
	プログラミング演習	1					1							
	構造力学3(前期)	2							2				A	
	構造力学3(後期)	2								2			A	
	水理学2(前期)	2							2				A	
	水理学2(後期)	2								2			A	
	土質力学2(前期)	2							2				A	
	土質力学2(後期)	2								2			A	
	上下水道工学(前期)	2							2				A	
	上下水道工学(後期)	2								2			A	
	水環境工学1(前期)	2							2				A	
	水環境工学1(後期)	2								2			A	
	鉄筋コンクリート工学2	1							1					
	工 業 英 語 演 習	1								1				
	RC構造設計製図	2								2				
	情 報 処 理 演 習	1								1				
	水 理 実 験	2							2					
	土 質 実 験	2							2					
	課 題 研 究	1								1				
	計算工学(前期)	2									2		A	
	環境シミュレーション工学(後期)	2										2	A	
	生 態 環 境 工 学	1										1		
	卒 業 研 究 I	2									2			
	卒 業 研 究 II	6										6		
		開設単位計	77	4		10		16		32		15		

区分	授 業 科 目	単位 数	学 年 別 配 当 単 位 数										学 修 単 位	備 考	
			1 年		2 年		3 年		4 年		5 年				
			前	後	前	後	前	後	前	後	前	後			
必修 選択科目	応 用 数 学 A	2							2				A	2科目以上選択	
	応 用 数 学 B	2							2				A		
	応 用 数 学 C	2								2			A		
	環境 コース	水域システム工学	1								1			B	
		水環境工学2	1									1		B	※
		環境管理手法	1										1	B	
		環境工学実験	2									2			※
	都市 コース	防 災 工 学	1								1			B	
		橋 構 造	1										1	B	※
		耐 震 構 造	1										1	B	
構造工学実験		2									2			※	
開設単位計		16	0		0		0		8		8			学修単位数12	
選択 科目	廃 棄 物 管 理	1							1						
	水域シミュレーション工学	1									1				
	プレストレストコンクリート工学	1									1				
	地 球 環 境 科 学	1									1				
	都 市 デ ザ イン	1										1			
	測量リモートセンシング	1										1			
	環境保全工学演習	1									1				
	地 盤 設 計 製 図	1									1				
	環境シミュレーション工学(前期)	1									1				
	計 算 工 学 (後 期)	1										1			
	学 外 実 習	2								2					
開設単位計		12	0		0		0		3		9			学修単位数	
特別学修		一般及び専門の特別学修と本校以外の教育施設における学修をあわせて最大10単位まで有効												[注2]	
本校以外の教育施設における学修														[注3]	
開設単位合計		105	4		10		16		43		32		38	特別学修および本校以外の教育施設における学修は含まない	

注1：A（1単位：15時間＋自学自習30時間） 1履修単位→1.5学修単位

B（1単位：22.5時間＋自学自習22.5時間） 1履修単位→1学修単位

注2：※印の科目は、同時開講科目

注3：特別学修の内容は、別に定める。

注4：本校以外の教育施設における学修の手続きは、別に定める。

専門科目

環境都市工学科【5年生】

区 分	授 業 科 目	単 位 数	学 年 別 配 当 単 位 数										備 考
			1 年		2 年		3 年		4 年		5 年		
			前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	
必 修	応 用 数 学 A	1							1				B[注 1]
	応 用 数 学 B	1							1				B
	応 用 数 学 C	1								1			B
	統 計 学	1									1		B
	応 用 物 理 I	1					1						
	応 用 物 理 II	1							1				B
	環境都市工学概論Ⅰ	1	1										
	環境都市工学概論Ⅱ	1			1								
	図 学	1	1										
	情報処理入門	1		1									
	コンピュータ基礎演習	1				1							
	修 科	プログラミング演習	1					1					
情報処理演習		1								1			
計 算 工 学		3									3		A
測 量 学Ⅰ		1		1									
測 量 学Ⅱ		2			2								
測 量 学Ⅲ		1					1						
構 造 力 学Ⅰ		2			2								
構 造 力 学Ⅱ		2					2						
構 造 力 学Ⅲ		3							3				A
水 理 学Ⅰ		2					2						
水 理 学Ⅱ		3							3				A
目		土 質 力 学Ⅰ	2					2					
	土 質 力 学Ⅱ	3							3				A
	建 設 材 料 学	2			2								
	鉄筋コンクリート工学Ⅰ	2					2						
	鉄筋コンクリート工学Ⅱ	1							1				B
	上 下 水 道 工 学	3							3				A
	環 境 概 論	1					1						
	環境シミュレーション工学	3									3		A
	水 環 境 工 学Ⅰ	3							3				A
	生 態 環 境 工 学	1									1		B
	構 造 力 学 演 習	1					1						
	工 業 英 語 演 習	1								1			
RC 構造設計製図	2								2				
材 料 実 験	2					2							
水 理 実 験	2							2					
土 質 実 験	2							2					
応 用 物 理 実 験	1								1				
測 量 実 習 A	2			2									
測 量 実 習 B	1					1							
課 題 研 究	1								1				
卒 業 研 究	8									8			
	開 設 単 位 計	76	4		10		16		30		16		学修単位数 28

区 分	授 業 科 目		単 位 数	学 年 別 配 当 単 位 数										備 考
				1 年		2 年		3 年		4 年		5 年		
				前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	
必修 選択科目	環境 コース	水域システム工学	1								1			B
		水環境工学Ⅱ	1								1※		[注 2] B	
		環境管理手法	1									1	B	
		環境工学実験	2								2※			
	都市 コース	防 災 工 学	1								1		B	
		橋 構 造	1									1※	B	
		耐 震 構 造	1									1	B	
		構造工学実験	2								2※			
	開 設 単 位 計		10	0		0		0		2		8		学修単位数 6
	選 択 科 目	廃 棄 物 管 理	1							1				
水域シミュレーション工学		1									1			
プレストレストコンクリート工学		1									1			
地 球 環 境 科 学		1									1			
都市デザイン		1										1		
測量リモートセンシング		1										1		
環境保全工学演習		1									1			
地盤設計製図		1									1			
学 外 実 習		2							2					
開 設 単 位 計		10	0		0		0		3		7			
特 別 学 修		一般および専門の特別学修と本校以外の教育施設にお											[注 3]	
本校以外の教育施設における学修		ける学修をあわせて最大 10 単位まで有効											[注 4]	
開 設 単 位 合 計			96	4		10		16		35		31		特別学修および 本校以外の教育 施設における学 修は含まない

注 1： A（1 単位：15 時間＋自学自習 30 時間） 1 履修単位→1.5 学修単位

B（1 単位：22.5 時間＋自学自習 22.5 時間） 1 履修単位→1 学修単位

注 2： ※印の科目は、同時開講科目。

注 3： 特別学修の内容は、別に定める。

注 4： 本校以外の教育施設における学修の手続きは、別に定める。

注 5： 平成 26 年度より科目名が以下の通り変更となる。

開講学年	必/選（単位）	旧科目名	新科目名
1 年・後期	必修（1）	測量学	測量学Ⅰ
2 年・通年	必修（2）	測量学	測量学Ⅱ
3 年・前期	必修（1）	測量学	測量学Ⅲ
2 年・通年	必修（2）	測量実習	測量実習 A
3 年・前期	必修（1）	測量実習	測量実習 B
3 年・通年	必修（2）	構造力学Ⅰ	構造力学Ⅱ
4 年・通年	必修（3）	構造力学Ⅱ	構造力学Ⅲ

特別学修一覧表

1. 木更津工業高等専門学校学則第 13 条第 6 項の規程に基づく、別表第 1 及び別表第 2 の特別学修についてはこの定めによる。
2. 特別学修は以下の一覧表とする。
3. この定めは平成 13 年 4 月 1 日から施行する。

特別学修一覧表

一般（全学科共通）

項目	表記	単位数	主催団体	窓口教員名
日本漢字能力検定 1 級	漢字検定:1 級	1	(公財)日本漢字能力検定協会	加藤達彦
日本漢字能力検定 準 1 級	漢字検定:準 1 級	1		
日本漢字能力検定 2 級	漢字検定:2 級	1		
実用英語技能検定 1 級	実用英検:1 級	2	(公財)日本英語検定協会	岩崎洋一
実用英語技能検定 準 1 級	実用英検:準 1 級	2		
実用英語技能検定 2 級	実用英検:2 級	2		
実用英語技能検定 準 2 級	実用英検:準 2 級	1		
工業英語能力検定 1 級	工業英検:1 級	2		
工業英語能力検定 2 級	工業英検:2 級	1	(公社)日本工業英語協会	荒木英彦
工業英語能力検定 準 2 級	工業英検:準 2 級	1		
工業英語能力検定 3 級	工業英検:3 級	2		
工業英語能力検定 4 級	工業英検:4 級	1		
TOEIC L&R 730 点以上	TOEIC L&R:上級	4		
TOEIC L&R 600 点以上	TOEIC L&R:中級Ⅱ	1	(一財)国際ビジネスコミュニケーション協会	小澤健志
TOEIC L&R 470 点～599 点	TOEIC L&R:中級Ⅰ	1		
TOEIC L&R 400 点以上	TOEIC L&R:初級	1		
TOEIC L&R 350 点以上	TOEIC L&R : e ラーニング初級 ※ 第 4 学年限定で諸条件あり。	1	(一財)国際ビジネスコミュニケーション協会	山本長紀
ドイツ語基礎統一試験(ZD)	国際ドイツ語検定:B1	2	ゲーテ・インスティトゥート	柴田育子
スタート・ドイツ語Ⅱ(SD2)	国際ドイツ語検定:A2	1		
スタート・ドイツ語Ⅰ(SD1)	国際ドイツ語検定:A1	1		
ドイツ語技能検定 2 級	ドイツ語検定:2 級	2	(公財)ドイツ語文学振興会	
ドイツ語技能検定 3 級	ドイツ語検定:3 級	1		
ドイツ語技能検定 4 級	ドイツ語検定:4 級	1		
技術士補	技術士第 1 次試験	4	(公社)日本技術士会	丸山真佐夫
実践ドイツ語Ⅰ	実践ドイツ語Ⅰ	1		柴田育子
実践ドイツ語Ⅱ	実践ドイツ語Ⅱ	1		
実践ドイツ語Ⅲ	実践ドイツ語Ⅲ	1		
技術イベント活動	技術イベント活動: ロボコンⅠ,Ⅱ,Ⅲ,Ⅳ,Ⅴ	1		坂元周作
技術イベント活動	技術イベント活動: プロコンⅠ,Ⅱ,Ⅲ,Ⅳ,Ⅴ	1		丸山真佐夫
技術イベント活動	技術イベント活動: IVRC ユースⅠ,Ⅱ,Ⅲ IVRCⅠ,Ⅱ	1		渡邊孝一
ボランティア活動	ボランティア活動:社会福祉	1		加藤達彦 岡本保 湯谷賢太郎
ボランティア活動	ボランティア活動:地域支援	1		加藤達彦 岡本保 湯谷賢太郎

国際交流	国際交流:外国人留学生支援	1		関口昌由
国際交流	異文化理解Ⅰ	1		関口昌由
国際交流	異文化理解Ⅱ	1		
国際交流	異文化理解Ⅲ	1		
国際交流	異文化理解Ⅳ	1		
国際交流	日本理解	1	国際交流センター (特別聴講学生対象)	柴田育子 関口昌由
国際交流	国際交流:プロジェクト実習Ⅰ	1		鵜田正俊
国際交流	国際交流:プロジェクト実習Ⅱ	1		鵜田正俊
国際交流	国際学術会議支援	1		鵜田正俊
教育支援活動	電子商取引実践演習Ⅰ	1		米村恵一
教育支援活動	電子商取引実践演習Ⅱ	1		
教育支援活動	電子商取引実践演習Ⅲ	1		
基礎原子力工学	基礎原子力工学:遠隔履修型	1		高谷博史

機械工学科

項目	表記	単位数	主催団体	窓口教員名	
機械設計技術者試験 3 級	機械設計技術者:3 級	3	(公社)日本設計工業会	小川登志男	
危険物取扱者試験乙種第 4 類	危険物取扱者:乙種第 4 類	1	(一財)消防試験研究センター		
2 級ボイラー技士試験	2 級ボイラー技士	2	(公財) 安全衛生技術試験協会		
エックス線作業主任者試験	エックス線作業主任者	2			
ガンマ線透過写真撮影作業主任者試験	ガンマ線透過写真撮影作業主任者	2			
騒音・振動関係公害防止管理者試験	騒音・振動関係公害防止管理者	3	(一社)産業環境管理協会	板垣貴喜	
機械・プラント製図技能検定(機械製図手書き作業) 3 級	3 級 機械・プラント製図技能士(手書き)	1	中央職業能力開発協会		
機械・プラント製図技能検定(機械製図 CAD 作業) 3 級	3 級 機械・プラント製図技能士(CAD)	1			
機械加工技能検定(普通旋盤作業) 2 級	2 級 機械加工技能士(旋盤)	1			
機械加工技能検定(普通旋盤作業) 3 級	3 級 機械加工技能士(旋盤)	1			
機械加工技能検定(フライス盤作業) 2 級	2 級 機械加工技能士(フライス盤)	1			
機械加工技能検定(フライス盤作業) 3 級	3 級 機械加工技能士(フライス盤)	1			
トレース技能検定試験 2 級	トレース技能検定:2 級	1	(一財)中央工学校生涯学習センター		歸山智治
CAD トレース技能審査・機械部門 初級	CADトレース技能・機械部門:初級	1	中央職業能力開発協会		
CAD トレース技能審査・機械部門 中級	CADトレース技能・機械部門:中級	2	中央職業能力開発協会		
3 次元 CAD 利用技術者試験 2 級	3 次元 CAD 利用技術者:2 級	1	(一社)コンピュータソフトウェア協会		
3 次元 CAD 利用技術者試験 準 1 級	3 次元 CAD 利用技術者:準 1 級	2			
3 次元 CAD 利用技術者試験 1 級	3 次元 CAD 利用技術者:1 級	2			
情報検定(J 検)情報システム試験基本スキル	情報検定:情報システム基本スキル	1	(一財)職業教育・キャリア教育財団	小田 功	
情報検定(J 検)情報システム試験プログラミングスキル	情報検定:情報システムプログラミングスキル	1			
情報検定(J 検)情報システム試験システムデザインスキル	情報検定:情報システムデザインスキル	1			
情報検定(J 検)情報活用試験 2 級	情報検定:情報活用2級	1			
情報検定(J 検)情報活用試験 1 級	情報検定:情報活用1級	1			
情報検定(J 検)情報デザイン試験初級	情報検定:情報デザイン初級	1			
情報検定(J 検)情報デザイン試験上級	情報検定:情報デザイン上級	1			
情報処理技術者試験基本情報技術者試験	情報処理技術者:基本情報	1	(独)情報処理推進機構		
情報処理技術者試験 IT パスポート試験	情報処理技術者:IT パスポート	1			

電気電子工学科

項目		表記	単位数	主催団体	窓口教員名
第1種または第2種電気主任技術者		電気主任技術者:2種	4	(一財)電気技術者試験センター	上原正啓
第3種電気主任技術者		電気主任技術者:3種	2		
第3種電気主任技術者の2科目合格		電気主任技術者:科目合格	2		
第1種電気工事士		電気工事士:1種	1		
第2種電気工事士		電気工事士:2種	1	(公財)日本無線協会	
第1級陸上無線技術士		陸上無線技術士:1級	2		
第2級陸上無線技術士		陸上無線技術士:2級	1		
第1級陸上特殊無線技士		陸上特殊無線技士:1級	1		
アマチュア無線技士 1級または2級		アマチュア無線:2級	1	(一財)日本データ通信協会	
電気通信主任技術者 線路主任		電気通信技術:線路	1		
電気通信主任技術者 伝送交換主任		電気通信技術:交換	1		
工事担任者 AI・DD 総合種		工事担任者:総合種	2		
工事担任者 AI 第1種または第2種		工事担任者:AI2種	1		
工事担任者 AI 第3種		工事担任者:AI3種	1		
工事担任者 DD 第1種または第2種		工事担任者:DD2種	1		
工事担任者 DD 第3種		工事担任者:DD3種	1	(財)実務技能検定協会	
ラジオ・音響技能検定 1級		ラジオ・音響検定:1級	1		
ラジオ・音響技能検定 2級		ラジオ・音響検定:2級	1		
ラジオ・音響技能検定 3級		ラジオ・音響検定:3級	1		
ディジタル技術検定 1級		ディジタル検定:1級	1		
ディジタル技術検定 2級		ディジタル検定:2級	1	(独)情報処理推進機構	
ディジタル技術検定 3級		ディジタル検定:3級	1		
情報処理技術者	システム監査技術者	情報処理技術者:システム監査	2		
	ITサービスマネージャ	情報処理技術者:ITサービスマネージャ	2		
	情報セキュリティスペシャリスト	情報処理技術者:情報セキュリティ	2		
	エンベッデッドシステムスペシャリスト	情報処理技術者:エンベッデッドシステム	2		
	データベーススペシャリスト	情報処理技術者:データベース	2		
	ネットワークスペシャリスト	情報処理技術者:ネットワーク	2		
	プロジェクトマネージャ	情報処理技術者:プロジェクトマネージャ	2		
	システムアーキテクト	情報処理技術者:システムアーキテクト	2		
	ITストラテジスト	情報処理技術者:ITストラテジスト	2		
	応用情報技術者	情報処理技術者:応用情報	2		
基本情報技術者	情報処理技術者:基本情報	1	(一財)職業教育・キャリア教育財団		
ITパスポート	情報処理技術者:ITパスポート	1			
情報検定(J検) 情報活用試験 1級	情報検定:情報活用試験 1級	1			
情報検定(J検) 情報活用試験 2級	情報検定:情報活用試験 2級	1			
CGエンジニア検定 CG部門 1級	CG検定:1級	1			
CGエンジニア検定 CG部門 2級	CG検定:2級	1			
マルチメディア検定 1級	マルチメディア:1級	1			
マルチメディア検定 2級	マルチメディア:2級	1			
画像処理検定 1級	画像処理検定:1級	1			
画像処理検定 2級	画像処理検定:2級	1			
パソコン技能検定Ⅱ種試験	パソコン技能検定:1級	1			
技術製作活動	技術製作活動	1			
研究活動	研究活動	1			
プロジェクトマネジメントⅠ	プロジェクトマネジメントⅠ	1			
プロジェクトマネジメントⅡ	プロジェクトマネジメントⅡ	1			

電子制御工学科

項目	表記	単位数	主催団体	窓口教員名
デジタル技術検定 1 級	デジタル検定:1 級	1	(公財)実務技能検定協会	白井邦人
デジタル技術検定 2 級	デジタル検定:2 級	1		
デジタル技術検定 3 級	デジタル検定:3 級	1		
情報処理技術者	システム監査技術者	情報処理技術者: システム監査	(独)情報処理推進機構	
	IT サービスマネージャ	情報処理技術者: IT サービスマネージャ		
	情報セキュリティスペシャリスト	情報処理技術者: 情報セキュリティ		
	エンベデッドシステムスペシャリスト	情報処理技術者: エンベデッドシステム		
	データベーススペシャリスト	情報処理技術者: データベース		
	ネットワークスペシャリスト	情報処理技術者: ネットワーク		
	プロジェクトマネージャ	情報処理技術者: プロジェクトマネージャ		
	システムアーキテクト	情報処理技術者: システムアーキテクト		
	IT ストラテジスト	情報処理技術者: IT ストラテジスト		
	応用情報技術者	情報処理技術者: 応用情報		
	基本情報技術者	情報処理技術者: 基本情報		
	IT パスポート	情報処理技術者: IT パスポート		
情報検定(J 検) 情報活用試験 1 級	情報検定:情報活用試験 1 級	1	(一財) 職業教育・キャリア教育財団	
情報検定(J 検) 情報活用試験 2 級	情報検定:情報活用試験 2 級	1		

情報工学科

項目		表記	単位数	主催団体	窓口教員名
情報処理技術者	システム監査技術者	情報処理技術者：システム監査	2	(独)情報処理推進機構	丸山真佐夫
	IT サービスマネージャ	情報処理技術者：IT サービスマネージャ	2		
	情報セキュリティスペシャリスト	情報処理技術者：情報セキュリティ	2		
	エンベデッドシステムスペシャリスト	情報処理技術者：エンベデッドシステム	2		
	データベーススペシャリスト	情報処理技術者：データベース	2		
	ネットワークスペシャリスト	情報処理技術者：ネットワーク	2		
	プロジェクトマネージャ	情報処理技術者：プロジェクトマネージャ	2		
	システムアーキテクト	情報処理技術者：システムアーキテクト	2		
	IT ストラテジスト	情報処理技術者：IT ストラテジスト	2		
	応用情報技術者	情報処理技術者：応用情報	2		
基本情報技術者	情報処理技術者：基本情報	1			
IT パスポート	情報処理技術者：IT パスポート	1			
情報検定(J 検) 情報活用試験 1 級		情報検定:情報活用試験 1 級	1	(一財) 職業教育・キャリア教育財団	
情報検定(J 検) 情報活用試験 2 級		情報検定:情報活用試験 2 級	1		
情報検定(J 検) 情報システム試験 基本スキル		情報検定:基本	1		
情報検定(J 検) 情報システム試験 プログラミングスキル		情報検定:プログラミング	1		
情報検定(J 検) 情報システム試験 システムデザインスキル		情報検定:システムデザイン	1		
CG エンジニア検定 CG 部門 1 級		CG 検定:1 級	1	(公財)画像情報教育振興会	栗本育三郎
CG エンジニア検定 CG 部門 2 級		CG 検定:2 級	1		

環境都市工学科

項目	表記	単位数	主催団体	窓口教員名
測量士試験	測量士	4	国土地理院	島崎彦人
測量士補試験	測量士補	2		
基礎製図検定試験	基礎製図検定	1	(公社)全国工業高等学校長協会	石井建樹
情報処理技術者 基本情報技術者	情報処理技術者:基本情報	1	(独)情報処理推進機構	
ビオトープ計画管理士試験	ビオトープ計画管理士:2 級	1	(公財)日本生態系協会	湯谷賢太郎
ビオトープ施工管理士試験	ビオトープ施工管理士:2 級	1		
公害防止管理者 1 種試験	公害防止管理者:1 種	3	(一社)産業環境管理協会	上村繁樹
公害防止管理者 2 種試験	公害防止管理者:2 種	1		
公害防止管理者 3 種試験	公害防止管理者:3 種	2		
公害防止管理者 4 種試験	公害防止管理者:4 種	1		
環境計量士試験	環境計量士	4	東京商工会議所	
環境社会検定	eco 検定	1		

【備考】

- 成績表には、「特別学修（実用検定:準 2 級）」「特別学修（技術イベント活動:ロボコン I）」のように記載する。
- 資格の級・種の単位認定には、独立方式とする。危険物取扱者や公害防止管理者などは、実際に取得した種だけを独立して単位認定する。

専攻科課程

機械・電子システム工学専攻

区 分			授 業 科 目	単 位 数	学 年 別 配 当				備 考		
					1 年		2 年				
					前	後	前	後			
一般科目	一般科目	必修	英 語 総 合	2	2						
			人 間 と 文 化	2		2					
			現 代 文 明	2			2				
		必修	技 術 倫 理	2				2			
		選択	ド イ ツ 語 演 習 I	1	1						
			ド イ ツ 語 演 習 II	1		1					
一般科目開設単位小計				10	6	4	一般科目修得単位 8 以上				
専門科目	専 門 科 目	必修	技 術 英 語 I	2		2					
				技 術 英 語 II	2			2			
				材 料 力 学 通 論	2	2					
				コ ン ピ ュ ー タ 科 学	2		2				
		必修	地 震 防 災 工 学 通 論	2				2			
				問 題 解 決 技 法	1	1					
			共通	応 用 数 学 特 論	2		2				3 科目中、2 科目以上選択
					応 用 物 理 特 論	2	2				
				応 用 化 学 特 論	2	2					
		必修		環 境 工 学 通 論	2		2				2 科目中、1 科目以上選択
				環 境 化 学 特 論	2			2			
			選択	回 路 工 学	2	2					2 科目中、1 科目以上選択
				創 造 設 計 工 学	2			2			
	選択	材 料 学 通 論		2		2				2 科目中、1 科目以上選択	
				磁 性 材 料 工 学	2			2			
		選択	技 術 論	1			1				
				イ ン タ ー ン シ ッ プ	2	2					
	専門共通科目開設単位数				32	21	11	専門共通科目修得単位 22 以上			
	科 目	専 門 科 目	必修	特 別 研 究 I	6	6					
					特 別 研 究 II	8			8		
					特 別 実 験	2		2			
					特 別 演 習 I	2	2				
			必修		特 別 演 習 II	2			2		
				選択	開 講 年 度			H29	H30	隔年開講(1,2 年生同時受講)	
					生 産 工 学	2	2				
					ト ラ イ ボ ロ ジ ー	2		2			
			シ ス テ ム 制 御 工 学		2			2			
			可 視 化 情 報 工 学		2			2			
			オ プ ト メ カ ト ロ ニ ク ス 工 学		2				2		
			高 周 波 回 路 工 学		2	2				平成 29 年度は“H29”欄の科目が開講	
	電 磁 波 工 学	2	2								
選択	エ ネ ル ギ 工 学	2		2			平成 30 年度は“H30”欄の科目が開講				
		半 導 体 物 性	2			2					
		電 気 機 械 エ ネ ル ギ ー 変 換 工 学	2					2			
	専門専攻科目開設単位数				40	20		20	専門専攻科目修得単位 32 以上		
専門科目開設単位小計				72	41	31	専門科目修得単位 54 以上				
一般・専門科目開設単位合計				82	47	35	一般・専門科目修得単位 62 以上				

専攻科課程

制御・情報システム工学専攻

区 分			授 業 科 目	単位 数	学年別配当				備 考	
					1 年		2 年			
					前	後	前	後		
一般科目	一般科目	必修	英 語 総 合	2	2					
			人 間 と 文 化	2		2				
			現 代 文 明	2			2			
			技 術 倫 理	2			2			
		選択	ド イ ツ 語 演 習 I	1	1					
		ド イ ツ 語 演 習 II	1		1					
		一般科目開設単位小計	10		6		4	一般科目修得単位 8 以上		
専門科目	専門科目	共通	必修	技 術 英 語 I	2		2			
				技 術 英 語 II	2			2		
				材 料 力 学 通 論	2	2				
				コ ン ピ ュ ー タ 科 学	2		2			
				地 震 防 災 工 学 通 論	2				2	
				問 題 解 決 技 法	1	1				
			選択	応 用 数 学 特 論	2		2			3 科目中、2 科目以上選択
				応 用 物 理 特 論	2	2				
				応 用 化 学 特 論	2	2				
				環 境 工 学 通 論	2		2			2 科目中、1 科目以上選択
			選択	環 境 化 学 特 論	2			2		
				回 路 工 学	2	2				2 科目中、1 科目以上選択
		創 造 設 計 工 学		2			2			
		材 料 学 通 論		2		2			2 科目中、1 科目以上選択	
		選択	磁 性 材 料 工 学	2			2			
			技 術 論	1			1			
			イ ン タ ー ネット	2	2					
				専門共通科目開設単位数	32		21		11	専門共通科目修得単位 22 以上
		専攻科目	専攻科目	必修	特 別 研 究 I	6		6		
	特 別 研 究 II				8			8		
	特 別 実 験				2		2			
	特 別 演 習 I				2		2			
選択				特 別 演 習 II	2				2	
				半 導 体 デ バ イ ス	2	2				
				学 習 制 御	2		2			
				シ ス テ ム 制 御	2			2		
				通 信 工 学	2			2		
				集 積 回 路 工 学	2				2	
				数 値 解 析 基 礎 論	2	2				
				ソ フ ト ウ ェ ア 工 学	2		2			
				ヒ ュ ー マ ン イ ン タ ー フ ェ ー ス	2		2			
				情 報 通 信 工 学	2			2		
				数 理 モ デ リ ン グ	2				2	
				専門専攻科目開設単位数	40		20		20	専門専攻科目修得単位 32 以上
				専門科目開設単位小計	72		41		31	専門科目修得単位 54 以上
	一般・専門科目開設単位合計	82		45		35	一般・専門科目修得単位 62 以上			

専攻科課程

環境建設工学専攻

区 分			授 業 科 目	単 位 数	学 年 別 配 当				備 考	
					1 年		2 年			
					前	後	前	後		
一般科目	一般科目	必修	英 語 総 合	2	2					
			人 間 と 文 化	2		2				
			現 代 文 明	2			2			
		修	技 術 倫 理	2				2		
		選択	ド イ ツ 語 演 習 I	1	1					
			ド イ ツ 語 演 習 II	1		1				
一般科目開設単位小計				10	6	4	一般科目修得単位 8 以上			
専門科目	専門	必修	技 術 英 語 I	2		2				
			技 術 英 語 II	2			2			
		修	材 料 力 学 通 論	2	2					
			コ ン プ ュ ー タ 科 学	2		2				
			地 震 防 災 工 学 通 論	2				2		
	問 題 解 決 技 法		1	1						
	共通	必修	応 用 数 学 特 論	2		2			3 科目中、2 科目以上選択	
			応 用 物 理 特 論	2	2					
			応 用 化 学 特 論	2	2					
		修	環 境 工 学 通 論	2		2			2 科目中、1 科目以上選択	
			環 境 化 学 特 論	2			2			
		選択	回 路 工 学	2	2				2 科目中、1 科目以上選択	
		修	創 造 設 計 工 学	2			2			
			材 料 学 通 論	2		2			2 科目中、1 科目以上選択	
			磁 性 材 料 工 学	2			2			
		選択	技 術 倫 理	1				1		
	イ ン タ ー シ ッ プ		2	2						
	専門共通科目開設単位数				32	21	11	専門共通科目修得単位 22 以上		
	専門科目	専門	必修	特 別 研 究 I	6	6				
				特 別 研 究 II	8			8		
			修	特 別 実 験	2		2			
				特 別 演 習 I	2	2				
特 別 演 習 II				2				2		
専攻		選択	環 境 生 物 工 学	2	2					
			構 造 数 値 解 析 学	2		2				
			応 用 構 造 工 学	2	2					
			環 境 情 報 ・ 保 全 工 学	2		2				
		修	環 境 工 学 特 論	2				2		
			応 用 材 料 工 学	2					2	
				応 用 地 盤 工 学	2				2	
			専門専攻科目開設単位数				34	18	16	専門専攻科目修得単位 32 以上
		専門科目開設単位小計				66	39	27	専門科目修得単位 54 以上	
		一般・専門科目開設単位合計				76	43	31	一般・専門科目修得単位 62 以上	

1-17 専攻科課程の履修要領

専攻科授業科目の履修等に関する規程(5-4 参照)を必ず通読してください。

(1) 単位、開設科目、修了要件、履修申請、成績評価、再試験、次年度以降の履修

① 1 単位の授業時間 (大学設置基準に準拠します)

本科と異なり、1 単位は標準 45 時間の学修を要する教育内容をもって構成されます。実際に時間割に組み込まれる授業時間数は、次のようになります。

講義科目：1 単位あたり 15 時間の授業で、30 時間の予習復習が課せられます。

演習科目：1 単位あたり 30 時間の授業で、15 時間の予習復習が課せられます。

実験および実習科目：1 単位あたり 45 時間の授業です。

特別研究は学生の主体的な取り組みを前提としています。

特別研究は、1 年次は 270 時間以上 (6 単位)、2 年次は 360 時間以上 (8 単位) の指導教員による直接指導を標準とします。

② 開設科目

一般科目、専門共通科目及び専門専攻科目があります。(教育課程表 1-16 参照)

③ 専攻科の修了要件

修了要件は、一般科目 8 単位、専門共通科目 22 単位以上、専門専攻科目 32 単位以上、合計 62 単位以上の修得です。この中には、必修 39 単位と必修選択 10 単位以上を含みます。

ただし、8 単位を超えない範囲で他専攻の専門専攻科目を履修できます。また、申請により認められれば、4 単位を超えない範囲で大学等において修得した単位を専攻科における授業科目の履修とみなすことができます。(5-4 参照)

④ 科目の履修申請

科目の履修については、前期および後期の授業開始日から 2 週間以内に、科目履修申請書を各専攻主任経由で学生課教務係まで提出してください。

⑤ 成績の評価

各科目の学業成績は、シラバス記載の「評価方法および評価基準」に従って 100 点法により評価し、次の区分によって評定します。

評点	100～80	79～70	69～60	59 以下
評定	A	B	C	D

授業時間数の 3 分の 1 以上を欠席した場合の評点は、59 以下となります。評点が 60 以上の場合に、その科目の単位修得を認定します。

⑥ 再試験

単位を認定されなかった場合、次期以降に再試験を受けることができます。

ただし、演習科目、実験科目、および 3 分の 1 以上を欠席した科目を除きます。再試験による評点の上限は 60 点です。再試験を希望する学生は、再試験受験願を科目担当

教員へ提出してください。

⑦ 次年度以降の履修

単位を認定されなかった科目は、次年度以降に履修することができます。履修方法は通常の履修と同様です。

(2) 特別研究

① 特別研究について

特別研究は、専攻科の教育目的を達成するために最も重要な科目として位置づけられており、各専攻ともに必修科目として、1 年前期から履修を義務づけています。1 年生の後期に専攻ごとに中間発表を行い、2 年生の年度末には 3 専攻合同の専攻科研究発表会を行います。この専攻科研究発表会は、広く学外にも一般公開されます。

自主的な研究への取り組みを促すため、年度当初に予定テーマを掲示し、学生の工学的興味をできるだけ尊重してテーマを決定します。指導教員の下で個別課題について研究を計画立案させ、文献検索から始まり、実験的手法、理論的手法、評価方法等を体得させ、論文作成および発表までを指導します。

② 専攻科特別研究状況報告書

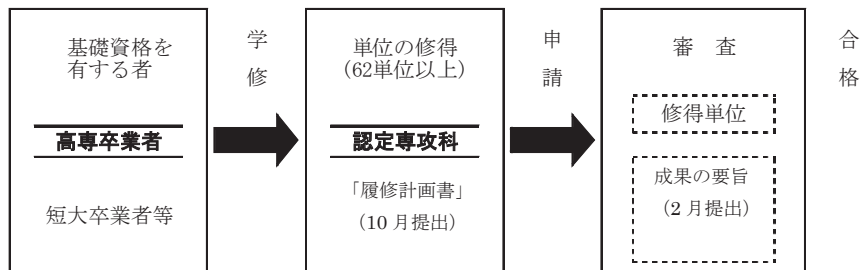
特別研究の計画的な研究実施と、指導の徹底を図り、その記録を残すために、**専攻科特別研究状況報告書**を作成します。報告書には、毎日の研究時間と研究内容を記録し、指導教員がチェックします。

③ 研究成果の学会発表

各学会の研究発表会等の機会を利用して、積極的に研究成果を発表するように心がけてください。学会での研究発表を奨励するために、1 回の発表について 1 万円以内で、1 人につき年 2 回を限度として、後援会から旅費を補助します。その際は、専攻科研究発表補助費請求書を提出してください。

(3) 学位（学士）の取得

平成 3 年 7 月に学位授与機構（平成 12 年 4 月に大学評価・学位授与機構となる）が創設され、高等専門学校卒業生で一定の要件を満たした場合、大学評価・学位授与機構の審査に合格すれば、学士の学位が取得できます。



① 特例に係る学位授与申請の要件

大学評価・学位授与機構の認定を受けた専攻科において 62 単位以上を修得していること。また、下記①及び②を満たしていること。

①特例の適用開始年度以降に特例適用専攻科に入学した者

②在学する特例適用専攻科および学位授与申請する専攻の区分に係る認定科目表に記載された学科を卒業後、ただちに特例適用専攻科に入学し、学位授与申請年度に修了見込みの者

※本校の専攻科は、大学評価・学位授与機構の認定を受けています。

※本校は、特例適用専攻科に該当します。

② 特例に係る学位授与申請の時期

2 年生の 10 月期に修了見込みで申請できます。申請に際しては、学位授与（見込み）申請書類と「履修計画書」を大学評価・学位授与機構に提出します。

③ 審査内容

大学評価・学位授与機構の審査は次の 2 段階になります。

(a) 「修得単位の審査」：要件に適合しているか。

(b) 「学修成果の審査」：学士の水準に達しているか。

(a)、(b)のいずれもが「可」と判定された場合に合格となります。

※ 「修得単位の審査」は、次の二つの要件

■ 専攻科等において、62 単位以上修得しているか。

■ 単位取得状況が申請する専攻分野の基準を満足しているか。

について行われます。本校卒業生の場合は、専攻科を修了すれば、審査基準を満足しています。本校卒業生以外の場合は、修得単位の審査に合格できるように入学時に履修指導を行います。

④ 単位修得証明書の提出

見込み申請科目については、2 月下旬頃に本校から単位修得証明書を提出する必要があります。

⑤ 審査結果の通知

大学評価・学位授与機構による「学修成果の審査」の結果と「修得単位の審査」の結果は、単位修得証明書を送付後、3 月下旬までに本人宛に通知されます。合格の場合には、合格者の同意のもとに 3 月中旬以降に大学評価・学位授与機構から**学士の学位記**が本校に送付され、専攻科修了式当日に交付されます。

⑥ 審査の結果が不合格になった者の取り扱い

「特例による学位授与申請」を行い不合格となった者は、再度申請する際に特例適用専攻科修了見込みであれば、「特例による学位授与申請」を行うことができます。

ただし、特例適用専攻科をすでに修了した場合は、特例による学位授与申請はできませんので、次の申請からは「修得単位および学修総まとめ科目等の審査による学位授与の申請」

ではなく、「修得単位の審査および学修成果についての審査ならびに試験による学位授与の申請」で行うこととなります。

⑦ 大学評価・学位授与機構の審査手数料

大学評価・学位授与機構への学位授与申請に伴う審査手数料 32,000 円（現行）が必要となります。

(4) 「生産システム工学」教育プログラムの履修

「生産システム工学」教育プログラムを履修する学生は、入学時に「生産システム工学」教育プログラム履修申請書を提出してください。なお、入学者全員が履修者となることを希望します。

1-18 シラバスの利用方法

勉学に臨むにあたり、「授業の羅針盤」とも言われる「シラバス」の利用方法及び存在意義について以下に示します。「シラバス」は、毎年 4 月に最新版が本科生および専攻科生の全員に配布されます。学生は、十分これを活用できるよう心がけてください。

- (1) 教育課程表（1-16 参照）は、本校の教育方針に基づいて授業科目を組織的に配列したものです。
 - (2) シラバスは、教育課程表の中の各授業科目について、担当教員が授業内容に関する詳細な情報を示したものです。
 - (3) 単に勉強方法だけを示した一般的な「学習の手引」等とは大きく異なり、シラバスには、単位数や授業計画、そして評価方法まで含む、当該授業に関する細かな情報が掲載されています。
 - (4) シラバスに良く目を通せば、計画的な学習（予習や復習）を自立的に行うことが可能となり、受け身ではない各自の勉強プランを立てることが可能になります。
 - (5) 以上のような理由から、学生はシラバスを十分に読みこなし、達成目標や授業の進め方等について十分に理解しておくことが要求されます。
 - (6) また、授業が現在どこまで進み、今後どのような方向に展開し、更に成績評価はどのように行われるのかを確認するためにも、シラバスは開講時のみならず授業を受ける過程において、そして成績が出された後まで利用されるものであることを心得ておいてください。
- （注）シラバスのプログラム目標の欄に記載の記号は、本校の「生産システム工学」教育プログラムにおける学習・教育目標の分類を表わしています。

1-19 「生産システム工学」教育プログラムの履修対象者

(1) はじめに

本校では、準学士課程第 4 学年から専攻科第 2 学年まで 4 年間一貫の「生産システム工学」教育プログラムを設定し、国際化に対応できる技術者教育を行っています。

本教育プログラムは、最も得意とする専門分野の知識と能力を身につけ、さらに異なる技術分野を理解し、両分野の知識を複合させる能力を身につけることを目的としています。具体的

には、機械工学、電気電子工学、電子制御工学、情報工学、環境都市工学のうち、いずれか1つの専門分野を学修して、さらに他専門分野の科目を学修します。学生の皆さんは、プログラム開始前の3年次に配布される「**生産システム工学**」**教育プログラム履修の手引**をよく読んでください。

(2) 履修対象者

本校の「生産システム工学」教育プログラムは、教育年限の設定を準学士課程第4学年から専攻科第2学年までの4年間としていることから、準学士課程を卒業して専攻科に入学した者が「**生産システム工学**」**教育プログラムの履修対象者**となります。専攻科入学生は専攻科入学時にプログラム履修申請書を提出してください。

準学士課程を卒業後就職し、その後社会人選抜により専攻科に入学する場合がありますので、就職希望者も「**生産システム工学**」**教育プログラム**を履修する可能性を持っています。

また、大学への編入学を目指している準学士課程の学生は、編入学先の大学が設定する技術者教育プログラムの履修対象者となる可能性が極めて大きいです。卒業後一旦就職し、その後大学へ編入学する場合も同様です。

したがって、準学士課程の学生は、各々が技術者教育プログラムの履修対象者となる可能性をもっていることを自覚してください。

1-20 教育課程修了後の主要国家試験資格等

全学科共通

資 格 等	根 拠 法 令 等
大学の編入学試験の受験資格	学校教育法第 122 条
国家公務員総合職受験資格	国家公務員法及び人事院規則八―一八
技術士第一次試験受験資格	制限なし 技術士法第 5 条
技術士第二次試験受験資格	第 1 次試験に合格し、かつ実務経験 7 年以上 JABEE により認定された教育プログラムの修了者は、 指導技術士の下で実務経験 4 年以上
労働安全(衛生)コンサルタント受験資格	卒業後安全(衛生)の実務 7 年以上 労働安全衛生法第 82 条

機械・電気電子・環境都市工学科

資 格 等	根 拠 法 令 等
電気工作物検査官となる資格	電気工作物の工事・維持及び運用に関する行政事務 に通算 4 年以上従事した者 (電気事業法施行令第 7 条第 2 項)
建設業営業所における専任技術者 となる資格	許可を受けようとする建設業に係る建設工事に関し、3 年以上の実務経験を有する者 (建設業法第 7 条第 2 項イ)

機械工学科

資 格 等	根 拠 法 令 等
臨床工学技士受験資格 (臨床工学技士法第 11 条)	高等専門学校において 5 年以上修業し、かつ、厚生労働 大臣の指定する科目(A)を修めた者で、文部科学大臣が 指定した学校又は厚生労働大臣が指定した臨床工学技 士養成所(2)において、1 年以上臨床工学技士として必要 な知識及び技能を修得したもの
昇降機検査資格者(建築基準法第 12 条第 3 項及び同施行規則第 4 条 の 20 の規定)	高等専門学校において、正規の機械工学若しくは電気工 学又はこれらに相当する課程を修めて卒業した後、昇降 機又は遊戯施設に関して 4 年以上の実務の経験を有す る者

資 格 等	根 拠 法 令 等
ボイラー・タービン主任技術者となる資格(電気事業法の規定に基づく主任技術者の資格に関する省令第1章第1条)	第1種 発電用のボイラー又は蒸気タービンの工事・維持又は運用 実務経験4年以上 第2種 発電用のボイラー・蒸気タービン又はガスタービンの工事・維持又は運用卒業後4年以上
自動車整備士技能検定受験資格	1級 2級の技能検定に合格した日から2年以上の実務経験を有する者 2級 3級の技能検定に合格した日から1年6ヶ月以上の実務経験を有する者 3級 自動車の整備作業の実務経験6ヶ月以上の者 (自動車整備士技能検定規則第17・18・19条)

電気電子工学科

資 格 等	根 拠 法 令 等
電気主任技術者となる資格	第2種 指定単位修得の上、卒業後1万V以上の電気工作物の工事・維持・運用に関して5年以上の実務経験を有する者 第3種 指定単位修得の上、卒業後500V以上の電気工作物の工事・維持・運用に関して2年以上の実務経験を有する者 (電気事業法の規定に基づく主任技術者の資格等に関する省令第1条)
第2種電気工事士	電気理論、電気計測、電気機器、電気材料、送配電、製図(配線図を含むものに限る。)及び電気法規に関する科目を履修して卒業した者は一次試験が免除される。
1級電気工事施工管理技士の受験	建設業許可基準の建設業の営業所で5年以上の実務経験を有する者(建設業法施行令第27条)

環境都市工学科

資 格 等	根 拠 法 令 等
ダム水路主任技術者となる資格(電気事業法の規定に基づく主任技術者の資格に関する省令第一章第一条)	第1種 高さ15m以上のダムに関する経験4年以上を含む6年以上の実務経験を有する者 第2種 卒業後3年以上の者
土木施工管理技士の受験資格	1級 5年以上の実務経験(うち1年は指導監督的実務経験)を有する者 2級 2年以上の実務経験を有する者 (建設業法施行令第27条5)

資 格 等	根 拠 法 令 等
ダム管理主任技術者となる資格	ダム又は河川の管理に関する 3 年以上の実務経験を有する者(河川法施行令第 32 条)
測量士及び測量士補となる資格	測量士 3 年以上の実務経験を有する者 測量士補 卒業後申請(試験免除) (測量法第 50・51 条)
公共下水道の維持管理を行う者の資格	上下水道の維持管理に関する実務を卒業後 5 年以上の者(下水道法施行令第 15 条 3)
公共下水道の設計又は工事の監督管理を行う資格	計画設計を行わせる場合 10 年以上 監督管理等を行わせる場合 5 年以上 (下水道法施行令第 15 条)